

平成20年度

教育要覧



栄町教育委員会

栄町民憲章

水と緑にめぐまれた栄町は、先人たちの残した歴史にかこまれている私たちのふるさとは、このすばらしい自然と伝統を守りながら、豊かで明るい田園観光都市をつくりあげるため、この憲章を定めます。

1. 歴史と自然を守り美しいまちをつくりましょう。
1. 他人をおもいやり住みよいまちをつくりましょう。
1. 若い力をそだて明るい未来のまちをつくりましょう。
1. 働くことによるこびを感じ豊かなまちをつくりましょう。
1. スポーツに親しみ健康ですこやかなまちをつくりましょう。

(昭和61年10月1日制定)

※表紙写真 2007さかえまち利根リバーサイドマラソン大会

はじめに

栄町教育委員会

教育長 牧野 隆

栄町は水と緑の田園観光都市を旨とし、「四季の恵み、憩いの水辺、いきいきのびのびさかえまち」をスローガンに、町民との協働によるまちづくりを進めています。戦後の新しい教育制度が発足して以来今日まで、時代の変遷と地域の特性に応じて多面的多角的に施策を展開し、教育のまちづくりを進めてまいりました。新しい学力観に裏打ちされた学習指導要領が、学校週5日制とともに施行されて以来、栄町の各小中学校においては「未来の栄町を担う心豊かなたくましい子ども」の育成を目指し、個に応じたきめ細かな指導を展開し、生きる力の育成に努めております。

教育基本法の改訂に伴い、ゆとり教育見直しの観点から教育関連法の改訂が進み、今春は新たな学習指導要領が告示されました。今後は一人ひとりの子どもに基礎基本の定着を図り確かな学力をつけさせるとともに、地域の特性を生かした体験活動を充実し、自ら学ぶ意欲と学び方を身につけた、心身ともにたくましい、子どもを育成することが重点課題となります。

近年栄町においては、町民による文化芸術活動やスポーツ活動、ボランティア活動等が活発に展開されるようになりました。人々の生活に余暇が増大し、高齢化の進行と相まって心の豊かさや生き甲斐感、心身の健康の維持増進等、真の自己実現を志向している町民の多様なニーズに応えるべく、多角的な施策や事業の展開が望まれています。また栄町の潜在的財産としての埋蔵文化財は、大規模な開発により収集されたまま保存しているものが多く、調査や修復保存等の措置が課題となっております。更に岩屋古墳をはじめとする龍角寺古墳群の史跡指定を含め、周辺の整備が急務となります。

国を挙げての行財政改革が進行するなか教育行政も例外ではありません。地方分権の大きな流れのなかで国と地方の役割の見直しが進み、国はナショナルスタンダードを、地方はローカル・オプティマムを分担することとされております。

教育改革が急激に進行し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改訂に準拠した、教育委員会の組織や運営の改善・充実も喫緊の課題となっております。

このように多岐にわたる教育行政上の諸課題の解決に向けて、栄町教育委員会は平成20年度の施策を以下のように本誌に掲げ、その実現に向けて事業を展開いたします。関係各位のご理解とご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

目 次

1	栄町の概要	
1.	栄町のプロフィール	1
2.	人口の推移	1
3.	栄町の沿革	1
2	教育行財政	
1.	教育委員	3
2.	教育委員会会議	3
3.	教育委員会機構	4
4.	職種別職員数	5
5.	平成20年度栄町教育方針	6
6.	平成20年度教育費予算	6
3	学校教育	
1.	基本方針	7
2.	事業概要	8
3.	学校紹介	11
4.	学校の沿革	15
5.	小・中学校児童生徒の推移	18
4	学校給食センター	
1.	学校給食センター概要	20
5	社会教育	
1.	社会教育の充実	23
2.	文化の創造	25
3.	社会体育の充実	29
4.	生涯学習の推進	31
6	社会教育の概要	
	平成19年度実績	33
7	ふれあいプラザさかえ	
1.	目的	42
2.	施設概要	42
3.	施設内容	43
4.	年度別利用状況	44
5.	ふれあいプラザさかえ文化団体育成事業の推進	45
6.	視聴覚教育の推進	46
	別 表	
	各種委員名簿	48

1 栄町の概要

1. 栄町のプロフィール

千葉県北部に位置する栄町は、北に利根川、南に印旛沼を望む、水と肥沃な土壌に恵まれた田園都市です。さらに、龍角寺古墳群・岩屋古墳や龍角寺、埴生郡衙跡という日本の古代国家形成期の画期となる遺跡・史跡を数多く遺す歴史のまちでもあります。周辺には体験博物館千葉県立房総のむらがあり、総合交流拠点ドラムの里も整備され、豊かな自然と歴史に恵まれた田園観光都市として発展しています。

また、都心から45km圏、千葉から35km圏という地の利や、成田空港まで30分、東関東自動車道成田I.Cから20分、最寄りの安食駅から上野まではJR成田線で66分という交通の便にも恵まれています。

町域は東西に約12km、南北に5kmで、総面積32.46km²を測る東西に細長い町です。

《 位置 》 東経 140° 14' 50" 北緯 35° 50' 15"

2. 人口・世帯数の推移

(各年10月1日現在) * () は世帯数

年	人口	
昭和30年	10,136人	(1,870)
昭和35年	9,732人	(1,841)
昭和40年	9,686人	(1,926)
昭和45年	9,170人	(1,971)
昭和50年	9,253人	(2,116)
昭和55年	9,837人	(2,360)
昭和60年	14,505人	(3,686)
平成2年	22,976人	(6,184)
平成7年	26,014人	(7,458)
平成12年	25,909人	(7,982)
平成16年	25,115人	(8,330)
平成17年	24,807人	(8,382)
平成18年	24,430人	(8,425)
平成19年	24,064人	(8,461)

3. 栄町の沿革

栄町は、低地・独立丘陵・台地という地形で成り立っています。台地は今の利根川に流れ込む支流によって開析され、多くの樹枝状の小支谷に刻まれており、その周辺には多くの遺跡が確認されています。

今から30,000~12,000年前の旧石器時代、人々は龍角寺・酒直周辺を中心に狩猟・採集生活を営んでいました。そして8,000年程前の縄文時代早期後半には矢口・北辺田周辺に貝塚や集落を形成しており、既に定住生活を営んでいたことが分かります。4,000年程前の中期~後期には興津・麻生周辺にさらに大きな貝塚や拠点的な集落が作られました。

弥生時代になると安食周辺の独立丘陵や北辺田周辺の台地に住み着いた人々によって稲作が開始されました。大台遺跡からは環濠と呼ばれる深い堀で囲まれた集落が見つかっています。

古墳時代になると北辺田や興津周辺に古墳や集落が作られ始め、6世紀中頃には印旛沼を望む台地縁辺部から利根川に向かう谷筋にかけて龍角寺古墳群が形成されました。浅間山古墳や全国

最大規模の方墳、国史跡岩屋古墳は7世紀前半～中頃に作られた終末期の古墳で印旛国造の墓と考えられています。7世紀後半には関東では最も古い寺の一つである龍角寺が建立されました。今でも、銅造薬師如来坐像（重要文化財）や塔の礎石（国史跡）が遺されています。また、龍角寺創建時の瓦を生産したといわれる龍角寺瓦窯跡、五斗蒔瓦窯跡では、「朝布（麻生）」「服止（羽鳥）」等、周辺の地名が刻まれた文字瓦が大量に出土して、全国的な注目を集めました。

奈良時代には酒直小学校あたりに埴生郡の役所である郡衙が置かれており、周辺地域から情報や物資の集まる政治・経済の中心であったと考えられています。

一方、利根川と将監川に囲まれ輪中として発達した布鎌地区は、江戸時代前期に新田開発され布鎌新田と名づけられ幕府の直轄地となっています。その立地条件からたびたび水害に襲われた同地区は、布鎌惣社水神社を川上に遷宮し、水塚を造成するなど治水に意を注いだ営々とした努力が、現在の穀倉地帯の発展へと結実しています。

また、利根川と印旛沼との結接点に当る安食川岸は水上交通の便に恵まれ、江戸時代前期から米の回漕場として発達し、特に江戸時代後期には、鹿島、銚子方面からの鮮魚荷物の輸送、江戸方面からの成田山参詣客で繁盛し、大鷲神社周辺は、酉の市などで賑わい発展をしました。

明治22年町村制が施行されると、安食地区では、下埴生郡安食村、須賀村、酒直村、龍角寺村、麻生村、北辺田村、矢口村の周辺7ヵ村に印旛郡安食ト杭新田の一部（立嶋地区）を編入して合併し境村となり、同25年には安食町と改称しました。その後、昭和29年に旧豊住村（現成田市）の一部であった興津地区を編入しました。一方布鎌地区は、明治22年に印旛郡布鎌請方新田、同四ッ谷新田、北布鎌村、布鎌酒直新田、同下和田新田、同脇川新田、同大森新田、同押付新田、同中谷新田、同三和村、同太郎右衛門新田、同上曾根新田、同南新田、同西新田、同長門屋新田、同南四ヶ村新田の周辺16ヶ村全域が合併し、布鎌村となりました。

そして昭和30年12月1日に安食町と布鎌村が合併して栄町が誕生しました。さらに、翌31年には茨城県稲敷郡河内村（現河内町）龍ヶ崎町歩・生板鍋子新田の一部（現出津地区）が編入され現在の町域になりました。

2 教育行財政

1. 教育委員

(平成 20 年 9 月 1 日現在)

役 職 名	氏 名	就任年月日	任 期
委 員 長	芦 田 坦	H 17.6.20	H 17.6.20 ~ H 21.6.19
委員長職務代理者	福本 朋子	H 13.10.1	H 17.10.1 ~ H 21.9.30
委 員	鈴木 初子	H 17.6.20	H 17.6.20 ~ H 21.6.19
委 員	金子 一男	H 20.7.1	H 20.7.1 ~ H 24.6.30
教 育 長	牧野 隆	H 12.10.12	H 16.10.12 ~ H 20.10.11

2. 教育委員会会議

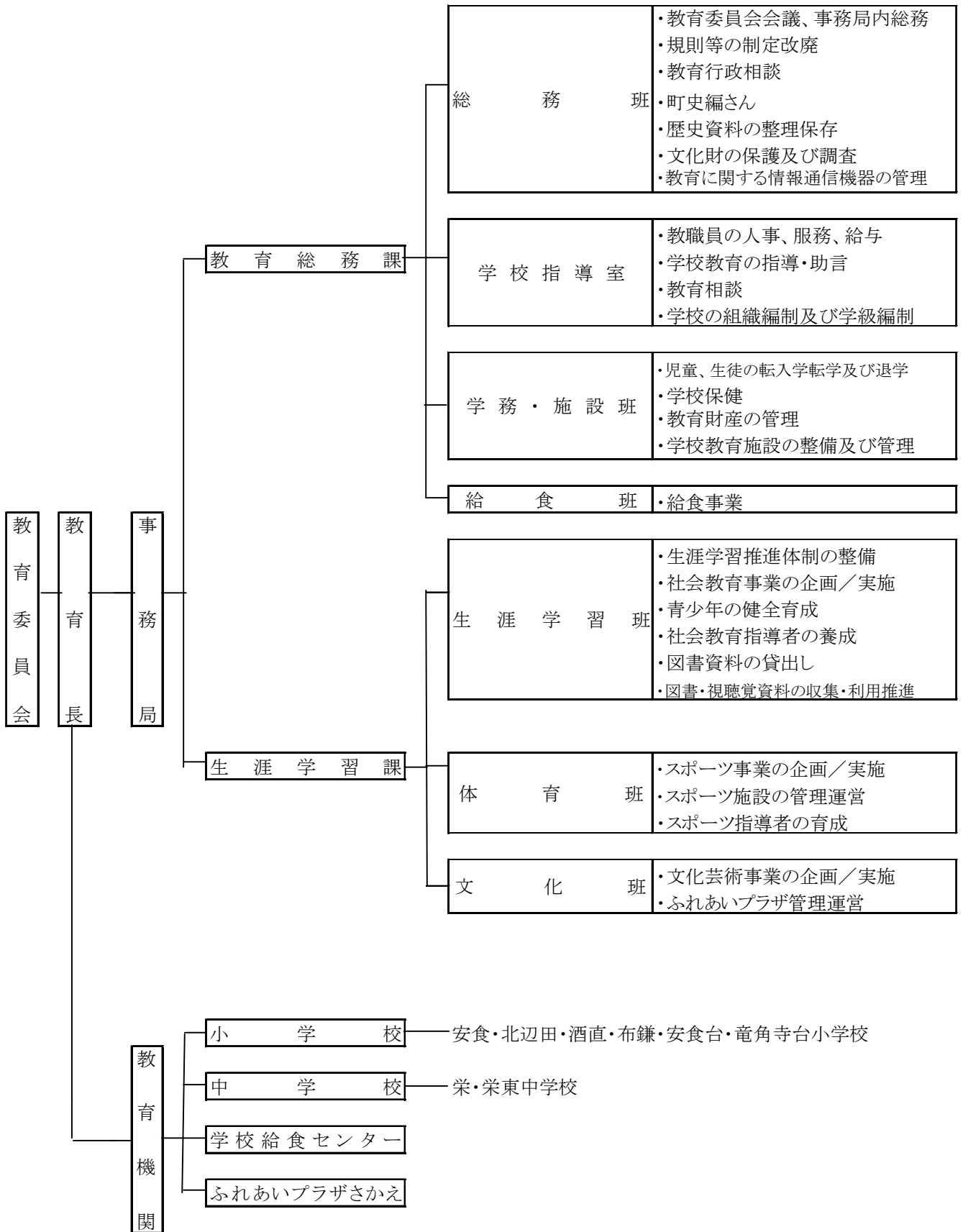
教育委員会会議は毎月 1 回を定例会とし、必要に応じて臨時会を開催している。平成 19 年度の開催数と付議案件は次の通りである。

定例会	臨時会	協議会	計
12	0	0	12

件 名	議案件数
教育委員会規則及び訓令を制定し、又は改廃すること	7
予算その他議会の議決を要する事件の議案について町長に意見を申し出ること	6
附属機関の委員を任命し、又は委嘱すること	9
その他	15

3. 教育委員会機構

(平成20年4月1日現在)



4. 職種別職員数

平成20年9月1日現在

課名 職名	事務局			教育機関			合計
	教育総務課	生涯学習課	小計	給食センター	ふれあいプラザさかえ	小計	
課長	1	1	2		(1)	(1)	2
主幹 課長補佐	1	1	2	(1)	(1)	(2)	2
指導主事	2	0	2				2
副主幹	4	2	6	(1)	(2)	(3)	6
主査	3(派1)	1	4(派1)	(1)		(1)	4(派1)
副主査	4	8	12		(7)	(7)	12
主任主事	5	0	5				5
主事	6	3	9		(2)	(2)	9
主事補	0	0	0				0
主任技師	0	0	0				0
技師	0	0	0				0
計	26(派1)	16	42(派1)	(3)	(13)	(16)	42(派1)

※ () 内は再掲、(派) は派遣職員(文化財センター)

5. 平成20年度栄町教育方針

基本方針

- 1) 創意と活力のある教育活動の中で、基礎基本の確実な定着と個性を生かすきめ細かな学校教育を推進します。
 - ・新しい時代に対応した学校教育の推進
 - ・児童生徒が安心して学び育つ環境の整備
- 2) 生涯学習意識の高揚を図り、生きがいのある生活と心の通う地域社会づくりや心豊かなたくましい人間に育つよう、地域一体となった青少年の健全な環境づくりを推進します。
 - ・「いきいき塾さかえ」を軸とした各種学習機会・情報の提供
 - ・余裕教室等を利用した地域での自主学習への活動支援
 - ・家庭教育支援及び人権問題意識の啓発活動の推進
 - ・子どもの健全育成を図るため地域住民との交流活動の推進
- 3) 芸術・文化に触れる機会の拡大と、個性豊かで潤いのある地域文化の醸成を図ります。
 - ・町内芸術愛好家の発表の場と鑑賞機会の提供
 - ・芸術・文化団体の育成
- 4) 町の文化財の保護に努め、新たな町指定文化財の指定を推進します。
 - ・国指定史跡岩屋古墳周辺及び龍角寺古墳群全域の国指定史跡の追加申請
 - ・町指定文化財の指定
- 5) スポーツを通じたコミュニティ活動の形成及び地域人間交流を推進します。
 - ・スポーツ・レクリエーションイベントの実施
 - ・スポーツ団体の育成と軽スポーツの普及

6. 平成20年度教育費予算

平成9年度以降の一般会計決算額と教育費

年 度	総決算額（単位：千円）	内教育費（単位：千円）
平成 9 年度	7,182,456	1,100,410 (15.3%)
平成10年度	8,154,932	1,275,849 (15.3%)
平成11年度	8,395,588	1,275,849 (15.2%)
平成12年度	7,440,498	1,408,639 (18.9%)
平成13年度	8,193,525	2,181,373 (26.6%)
平成14年度	7,725,106	1,760,617 (22.8%)
平成15年度	7,182,309	1,078,780 (15.0%)
平成16年度	7,191,829	914,078 (12.7%)
平成17年度	5,959,915	807,915 (13.6%)
平成18年度	6,086,458	1,188,431 (19.5%)
平成19年度	5,631,404	624,389 (11.1%)
平成20年度	6,019,004	785,814 (13.1%)

※ 平成20年度は、当初予算額

3 学校教育

1. 学校教育

1 基本方針

創意と活力のある教育活動の中で、基礎基本の確実な定着と個性を生かすきめ細かな学校教育を推進する。

平成20年3月に新しい学習指導要領が公布されました。小学校では平成23年度から、中学校では平成24年度から完全実施されます。それに伴い、平成21年度からは移行期間となります。

今回の学習指導要領の改訂では、「生きる力」を育むという基本理念は変わっていませんが、基礎的・基本的な知識・技能の習得やその知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を一層高めていくことが課題となってきます。

各校においては現在も創意ある教育課程を編成し、児童生徒や地域の実態を踏まえた特色ある教育を推進しているところですが、さらに、新しい教育課程の編成にむけての準備も進めていかなければなりません。

また、昨年度から全国学力・学習状況調査が実施され、本年度4月には第2回目が実施されました。ただいまその分析に向けて取り組みを進めております。

現在、テレビ・新聞等のマスコミにおいて、子どもたちの学力問題が、盛んに取り上げられております。また、保護者からも子どもにしっかりと学力をつけてほしいとの声が多く聞かれます。

しかしながら、このことは、知識・技能面の定着に重点をおきがちであった以前の指導に立ち戻ることを意味するものではありません。社会の中で力強く生きていくために、児童生徒の学習への主体的な取り組みを促し、新しい学習指導要領にもあるように、知識・技能面の基礎基本の確実な定着を図るとともに、思考力、判断力、表現力、問題解決能力なども育てていくことが大切であります。今後とも、より一層指導法の工夫・改善や教材研究等に取り組むことによって、学力向上の課題に取り組んでいくことが必要であります。

さらに、学校教育法の改正により、各学校は学校評価に努めるとともに、その教育活動やその他運営状況等について、積極的に情報の提供に努めているところです。各校においては、管理職のリーダーシップのもと、前年度の自己評価さらには外部評価を踏まえ、諸課題の解決に向けて、計画的・組織的に検討を加え、積極的に学校改善に取り組んでいくよう指導・支援してまいります。そして、保護者や地域に信頼される学校づくりの推進をします。

教育委員会では、20年度は各校が少人数教育、特別支援教育、キャリア教育及び国際理解教育の充実など、創意と活力のある学校づくりに取り組むとともに、より一層のきめ細かな教育活動の推進に向けて次の事業を実施し、積極的に各校を支援してまいります。

2 事業概要

(1) 新しい時代に対応した人間教育を推進する学校教育を展開します。

(A) きめ細かな学校教育の推進

◇国際化に対応した人間教育事業

中学校にALT（外国語指導助手）を派遣し、英語科教員とのチームティーチングによる授業を展開します。また、小学校に国際理解教育指導員を配置し、担任教員とのチームティーチングを実施します。この事業により、外国の生活や文化に慣れ親しみ、異文化を理解し尊重する態度の育成を図ります。また、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養います。

◇個に応じた授業改善推進事業

1) 少人数教育の推進

県の事業により、指導方法工夫改善に伴う教職員を、安食小学校・安食台小学校・竜角寺台小学校・栄中学校・栄東中学校に配置します。また、町雇用の学校補助教員を北辺田小学校・酒直小学校に配置します。このことにより、児童生徒一人一人の理解や習熟の程度に応じた指導や繰り返し指導などの機会が増え、複数の教師による実態把握、「つまずき」の克服、課題にじっくり取り組ませるなどのきめ細かな教育活動が、各校の実態に応じた内容で展開されます。

2) 特別な教育的配慮を要する児童・生徒のニーズに応じた教育の充実

発達に問題を抱えた子どもたちが、自分のよさや可能性を生かし、よりよく生きる力を伸ばすためには、専門的な指導が大切です。

特別支援教育事例研究会を開催し、コーディネーター等教員の指導力向上を支援します。専門的知識経験を有する特別支援教育補助員を布鎌小に配置します。自立支援のため、介助職員を安食小・安食台小・竜角寺台小・栄中・栄東中に配置します。児童生徒の一人一人のニーズに対応するため、「知的特別支援学級」と「情緒特別支援学級」を開設しています。町内全小・中学校に設置されている特別支援学級、言葉の発達の遅れなどの児童を対象とした安食小学校「ことばの教室」や安食台小学校「通級指導教室」では、児童生徒一人一人の「個別指導計画」を作成し、個別的指導を展開することに努めています。また、小・中学校入学前の子どもたちの就学相談を関係機関と連携し、随時行っています。

◇心の教育支援事業

1) ピア・サポート(人間関係づくりプログラム)の実践

小学校1年生から中学校3年生までの全学年で、発達段階に応じたプログラムを年間4回実践します。各校の理論研究や授業実践を支援し、児童生徒の人間関係構築能力の向上を目指します。

2) 教育相談体制の充実

教育相談体制の充実を図るため、「千葉県スクールカウンセラー」を各中学校区に配置します。各中学校区内の小学校児童及び保護者の相談にも応じています。また、教育相談員や指導主事による栄町教育支援センター「ゆうがく館」での週2回（火・金）の教育相談事業により、学校教育に関する様々な悩み相談に対応します。

3) 不登校児童生徒の適応指導の充実

不登校の児童生徒の学びの場として、栄町教育支援センター「ゆうがく館」を平成11年度から開設しています。指導主事と学校心理士資格を有する指導員が、学校や関係機関との連携を図りながら運営しています。不登校傾向などの教育相談にも応じます。また、平成19年度より不登校、暴力行為、いじめ、児童虐待等、学校が抱える課題について、未然防止、早期発見、早期対応につながるよう「問題を抱える子ども等の自立支援事業」を実施しています。小学校に巡回スクールカウンセラーを派遣し、さまざまな問題を抱える児童・保護者及び教職員の支援を行います。

4) 生徒指導の充実

生徒指導の意義は全ての児童生徒の人格のよりよき発達と学校生活が有意義で興味深く、充実したものとなることを目指すものであり、単なる問題行動への対応という消極的な面にとどまるものではありません。

一人一人の児童生徒の健全な育成を促し、自己実現を図っていくための自己指導能力の育成を目指すという生徒指導の積極的な意義を踏まえ教育活動全体を通じ、その一層の充実を図っていく必要があります。町教育委員会では年間6回の「小・中合同生徒指導主任会議」の開催に加え、中学校2校で毎週開かれている生徒指導会議に、担当指導主事が参加し指導助言を行っています。

また、町内のマザーズホーム・私立幼稚園・保育園と小学校の情報交換会を各学校ごとに実施しています。

5) 読書教育の充実

子どもたちの豊かな心の育成のため、学校支援ボランティアの協力等により読書教育の充実に努めます。本年度、日本食研のご好意により各学校への図書購入費の寄付を受けることになりました。その寄付をもとに、学校図書館への蔵書を増やし、児童生徒の主体的意欲的な学習活動や読書活動を支援します。

◇学校教育を担う人材の育成・支援事業

学校教育は、教職員の情熱・努力に支えられており、教職員の資質・能力と創意工夫が、よりよい学校教育実現のための重要な条件となります。町内全ての教員を対象にした研修では、本年度は「特別支援教育」をテーマとして実施します。

また、校内研修により教職員の人権に対する意識を高め、指導力・実践力の向上を図ります。更に、すべての教育活動において、児童生徒の人権に配慮した実践や、言葉かけ等の具体的な対応について考え、全児童生徒の人権意識の向上を目指し、人権尊重の教育を推進していきます。

他にも国際理解教育・キャリア教育・情報教育に係る教員の指導力向上を目指し研修会を開催します。

各校教務主任を対象にした教務主任研修では、新しい学習指導要領に対応した教育課程の編成について取り組んでいきます。

これらの研修を通し、創意と活力のある学校づくりが推進され、きめ細かな教育活動の創造と推進のために、生徒指導、特別支援教育、情報教育、国際理解教育等に係る指導力向上を支援します。

(B) 特色ある学校づくりの支援

◇特色ある学校づくり支援事業

1) 学校評議員の設置

地域に開かれた学校を目指して、本年度も学校評議員制度を実施します。校長の推薦により選出された学校評議員の方々が、今年度も学校の教育活動について校長と話し合ったり、地域への広報活動に携わったりしてくださっています。

2) 地域住民による学校支援の推進

各学校では、「1000ヶ所ミニ集会」の開催など、学校・家庭・地域相互の教育情報の交流を推進します。

学校における社会人活用を推進するため、「総合的な学習の時間」等での学校支援ボランティア・ゲストティーチャーや中学校部活動指導員の活用を支援します。

3) 教育振興支援

優れた芸術に触れ、感動し、伝統文化の良さや様々な文化の違いを理解することを通して、個々の児童生徒の心情と感性を育てていくことは、豊かな情操を養う上でとても大切なことです。栄町学校教育振興会が企画運営の中心となり実施する「栄町小・中作品展」を支援します。

4) 安全教育の推進

学校で行われる健康教育及び安全教育が、地域や関係機関との連携により充実した内容になるよう推進します。町教育委員会では、千葉県より委嘱された地域ボランティアによる「スクールガード・リーダー」と連携し、学校内外や通学時の子どもたちの安全確保を推進します。

(2) 子どもたちが安心して学び育つ環境を整備します。

◇教育環境の充実

経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、「要保護及び準要保護就学援助事業」として、学校教育に関する経済的援助を実施します。特別支援学級に就学する児童または生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、その負担の程度に応じ、「特別支援教育就学奨励援助事業」として、特別支援学級への就学のための経済的援助を実施します。

3 学校紹介

・安食小学校 (明治6年創立)

千葉県印旛郡栄町安食305番地

電話 0476-95-0017

FAX 0476-95-6881

E-mail ajiki@educet.plala.or.jp

http://academicl.plala.or.jp/ajiki/

校長名 片野 信一

学級数 普通学級12 特別支援学級4 (情緒障害1 知的障害1 ことばの教室2)

児童数 (平成20年5月1日現在)

教職員数 32名

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	さざんか1	さざんか2	言語	合計
男	27	29	26	33	23	16	1	2	8	165
女	23	33	24	33	28	30	2	0	4	177
合計	50	62	50	66	51	46	3	2	12	342

教育目標 「豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」

<めざす児童像>

①思いやりのある子 (心の教育)

②進んで学習する子 (自己教育力)

③進んで体をきたえる子 (健康安全教育)

研究主題 「学び合いのある国語学習のあり方」

・北辺田小学校 (明治25年創立)

千葉県印旛郡栄町北辺田212番地

電話 0476-95-1758

FAX 0476-95-6882

E-mail kitabeta@educet.plala.or.jp

http://academicl.plala.or.jp/kitabeta/

校長名 佐久間 三智子

学級数 普通学級6 特別支援学級1 (知的障害1)

児童数 (平成20年5月1日現在)

教職員数 14名

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	サポート ルーム	合計
男	7	5	5	4	5	9	3	38
女	2	6	3	6	7	7	0	31
合計	9	11	8	10	12	16	3	69

教育目標 「心豊かで、向上心に富む子どもの育成」

～心を育み、体を鍛え、知を伸ばす～

「あ (挨拶) そ (掃除) べ (勉強)、そして元気に遊べ」を合い言葉に徳・体・知の調和のとれた人間育成のための教育計画を作成し実践する。

<めざす児童像>

・自ら判断し、よいことをすすんで実践する子ども

・元気に遊び運動する、明るく、たくましい子ども

・自ら目標を持ち、まじめに学び、努力する子ども

研究主題 「互いの立場や考えを尊重しながら、自分の思いや考えを生き生きと伝え合う子どもの育成」

・**酒直小学校** (明治35年創立)
千葉県印旛郡栄町龍角寺33番地

電話 0476-95-1759
FAX 0476-95-6883
E-mail sakanao@educet.plala.or.jp
<http://academic1.plala.or.jp/sakanao/>

校長名 岩井 清
学級数 普通学級 6 特別支援学級 1 (知的障害 1)

児童数 (平成20年5月1日現在) 教職員数 13名

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	コスモス	合計
男	9	5	11	10	8	6	0	49
女	6	9	9	7	8	8	1	48
合計	15	14	20	17	16	14	1	97

教育目標 <めざす児童像> 生涯に向かって「生きる力」を持つ酒直っ子
(1) さ：最後までやりとげる子
(2) か：体をきたえる子
(3) な：何にでも挑戦する子
(4) お：思いやりのある子

研究主題 「一人一人がよさを認め合い、高め合う子の育成を目指して」
～キャリア教育の実践を通して～

・**布鎌小学校** (明治8年創立)
千葉県印旛郡栄町請方157番地の1

電話 0476-95-0138
FAX 0476-95-6884
E-mail fukama@educet.plala.or.jp
<http://academic1.plala.or.jp/fukama/>

校長 宮下 忠光
学級数 普通学級 6 特別支援学級 2 (知的障害 1 情緒障害 1)

児童数 (平成20年5月1日現在) 教職員数 15名

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	フレンド1	フレンド2	合計
男	6	10	12	10	4	3	0	1	46
女	8	10	8	9	5	8	1	0	49
合計	14	20	20	19	9	11	1	1	95

教育目標 「心豊かに生き生きと学ぶ児童の育成を図る」

<めざす児童像>

みんなで 思いっきり 学ぶ子・遊ぶ子・働く子

研究主題 「国語力」の向上を図り、生き生きと学ぶ児童を育成する
～主体的に読み解き、表現することのできる児童の育成～

・安食台小学校 (昭和58年創立)

千葉県印旛郡栄町安食台4丁目34番地の1

電話 0476-95-0971

FAX 0476-95-6886

E-mail ajikidai@educet.plala.or.jp

<http://academicl.plala.or.jp/ajikidai/>

校長名 田邊 みさを

学級数 普通学級 7 特別支援学級 1 (情緒障害1) 言語通級指導教室 1

児童数 (平成20年5月1日現在)

教職員数 17名

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	くすのき	合計
男	17	15	11	12	15	16	3	89
女	20	13	15	23	8	18	1	98
合計	37	28	26	35	23	34	4	187

教育目標 「豊かな心と確かな学力を持つ子を育む」

- ㊦ ・明日に向かって学習に励む子
- ㊧ ・時間や約束を守る子
- ㊨ ・きたえた身体を持つ子
- ㊩ ・誰とでも仲よくできる子
- ㊪ ・いのちを大切にする子

研究主題 「伝え合う力」を育てる国語科学習のあり方
～「読むこと」を中心に～

・竜角寺台小学校 (平成元年創立)

千葉県印旛郡栄町竜角寺台6丁目26番1号

電話 0476-95-5311

FAX 0476-95-6887

E-mail ryudai@educet.plala.or.jp

<http://academicl.plala.or.jp/ryudai/>

校長 中嶋 加奈江

学級数 普通学級 7 特別支援学級 1 (情緒障害1)

児童数 (平成20年5月1日現在)

教職員数 17名

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	ひまわり	合計
男	12	16	25	18	21	16	1	109
女	12	16	17	15	17	22	1	100
合計	24	32	42	33	38	38	2	209

教育目標 「豊かな心、すこやかな体、たくましい創造力を持つ子どもを育てる」

- ◎かしこい子ども ○集中して聞く ○自分の言葉で表現する
- ◎やさしい子ども ○あいさつ・返事ができる ○ありがとう・ごめんなさいが言える
- ◎たくましい子ども ○汗して働くことを喜ぶ ○粘り強く、がんばることができる

研究主題 一人一人が生き生きと取り組み、確かな国語力を身につける
学習指導法の工夫
<これからの読解力の向上をめざして>

・**栄中学校** (昭和22年創立)
千葉県印旛郡栄町安食55番地

電話 0476-95-0011
FAX 0476-95-6888
E-mail sakae-es@educet.plala.or.jp
http://academicl.plala.or.jp/sakae-es/

校長 大久保 雅従
学級数 普通学級 13 特別支援学級 2 (知的障害1 情緒障害1)

生徒数 (平成20年5月1日現在) 教職員数 33名

学年	1年	2年	3年	さみどり1	さみどり2	合計
男	59	76	63	2	2	202
女	63	78	65	1	1	208
合計	122	154	128	3	3	410

教育目標 「心豊かで、たくましく生きる生徒」～自立と共生～
くめざす生徒像>
・あいさつのできる生徒
・特技を伸ばすことができる生徒

研究主題 感動を共有し、様々な方法で表現できる生徒の育成
(基礎的な学力の定着を基盤として)

・**栄東中学校** (昭和63年創立)
千葉県印旛郡栄町龍角寺1112番地の2

電話 0476-95-5815
FAX 0476-95-6889
E-mail s-higasi@educet.plala.or.jp
http://academicl.plala.or.jp/s-higasi/

校長 小林 茂
学級数 普通学級6 特別支援学級2 (知的障害1 情緒障害1)

生徒数 (平成20年5月1日現在) 教職員数 24名

学年	1年	2年	3年	うぐいす1	うぐいす2	合計
男	34	31	38	2	0	105
女	24	30	36	1	1	92
合計	58	61	74	3	1	197

教育目標 「心豊かで、たくましく生きる力を持った生徒の育成」
くめざす生徒像>

1. 自ら学ぶ意欲と、創造力豊かな実践力のある生徒を育成する。
2. 深い思いやりの心を持ち、命を大切にする生徒を育成する。
3. 基礎基本を身につけた、国際化・情報化時代に対応できる生徒を育成する。

研究主題 基礎学力の定着と伸長を図るためにはどうしたらよいか。

4 学校の沿革

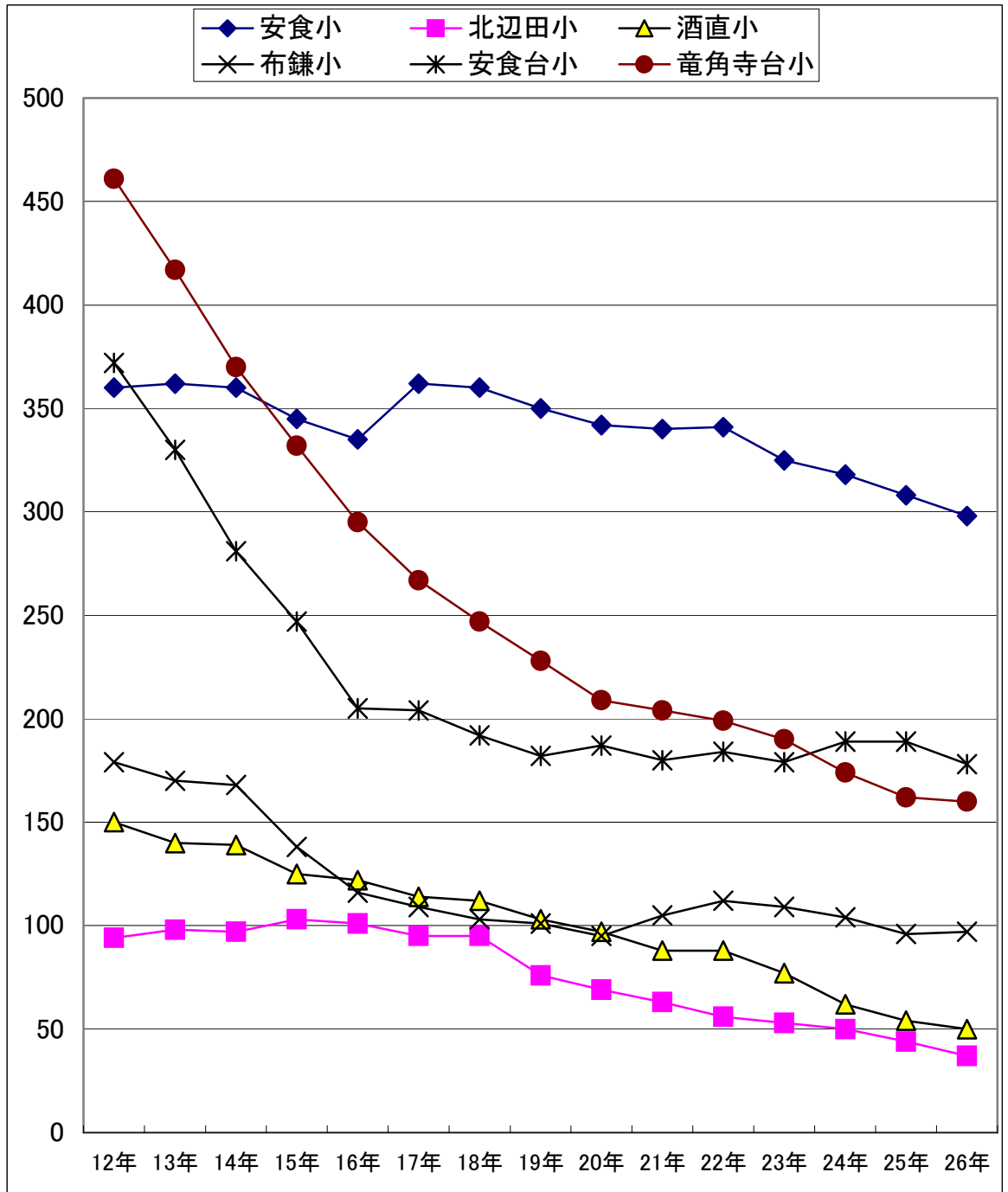
	年月日	校名	沿革	
明	6. 2. 23	安食小	大乘寺を仮校舎として開校、鷲谷学校と称す	
	6. 5. 10	布鎌小	東校創立	
	8. 4. 1	〃	西校創立	
	10. 2. 21	酒直小	酒直小学校開校と伝える	
	15. 2. 4	布鎌小	西校校舎新築	
	15. 10.	安食小	校舎新築する	
	19.	布鎌小	東小尋常科設置布鎌尋常小学校となる	
	21. 5. 10	安食小	高等小学校認可される 安食尋常高等小学校と改称	
	22.	布鎌小	西校を布鎌尋常小学校とし、東校を分校とする	
	25. 10. 15	北辺田小	創立、仮校舎で開校	
	25.	布鎌小	東尋常小学校と改称、高等科設置、布鎌尋常高等学校と改称	
	32.	〃	東校、4ヶ年の単級分教場とする	
	治	32. 9. 23	北辺田小	新校舎現在地に完成
34.		布鎌小	東校、校舎増築する	
37. 5.		安食小	校舎増築する	
41. 4.		北辺田小	須賀小学校を本校合併	
41.		布鎌小	東校、校舎改修	
41.		酒直小	酒直尋常小学校廃校となり安食尋常小学校酒直分教場となる	
42. 5. 20		北辺田小	一教室増築する	
大正		11. 1. 15	布鎌小	農業補習学校併置
		11.	北辺田小	校地 243 坪拡張する
昭		2. 4. 10	安食小	校舎新築落成式举行
	2. 7. 14	〃	酒直分教場新築使用	
	13. 9.	北辺田小	校舎 6 教室新築する	
	16. 4. 3	安食小	校舎 3 教室新築する	
	22. 4. 10	各小学校	国民学校を改め小学校と改称する	
	22. 5. 10	安食中	安食小学校の校舎の一部を使用、創立開校、安食中学校と称する	
		布鎌中	布鎌小学校の校舎の一部を使用、創立開校、布鎌中学校と称する	
	24. 4. 1	酒直小	安食小学校酒直分校より独立、町立酒直小学校と称する	
	24.	布鎌小	東校 6 年までの複式 4 学級とする	
	25. 5. 24	酒直小	玄関、職員室、昇降口等落成	
	25.	北辺田小	保健室 30 坪新築する	
	25. 7. 1	安食中	新校舎落成式を举行	
	26.	酒直小	宿直室一棟 10 坪増築	
	26. 5. 25	布鎌中	新校舎落成式を举行	
	26. 6. 23	安食中	家庭科調理室新築	
	28. 3. 9	北辺田小	校地拡張 1 反 2 畝 1 歩	
	28. 4. 10	安食小	創立 80 周年記念式典举行、校章を改正する	
	28.	北辺田小	使丁室 5 坪増築	
	30.	布鎌小	東校舎落成	
	30. 10. 24	北辺田小	西便所、宿直室を新築する	
	30. 12. 1	各校	安食町、布鎌村合併、栄町誕生、各校栄町立となる	
	31. 4. 25	酒直小	校舎老朽のため 4 教室新築落成する	
	32. 5. 1	安食中	特別教室（理科、図書、音楽）落成	
	32. 8. 9	北辺田小	校地拡張 1 畝 15 歩	
	33. 4.	布鎌小	本校北側校舎改築	
	33. 11. 7	酒直小	老朽校舎改修工事竣工	
	34.	布鎌小	東校 1 教室増築	
	34.	北辺田小	倉庫、体育庫新築	
	35. 5. 20	安食中	工作室増築落成	

昭	36. 7. 7	安 食 中	増築4教室落成式
	37. 4. 28	安 食 小	体育館落成式
	37. 9. 3	安 食 中	女子生徒更衣室新築
	38. 11. 23	安 食 小	創立90周年記念式典挙行
	38. 12. 18	安 食 中	体育館新築落成
	39. 10.	各 校	給食センター開設、各校給食コンテナ室増築
	41. 8.	北 辺 田 小	プール及び附属舎新築
	42. 4. 1	栄 中	中学校統合により栄町立栄中学校と改称する
	42. 4. 1	布 鎌 小	鉄筋2階6教室完成
	43. 4. 30	町 小	町営プール竣工
	45. 8. 27	安 食 小	新校舎落成（交通指導模擬道路設置）
	45. 10. 14	栄 中	武道館落成
	46. 2. 23	安 食 小	創立100周年記念式典挙行
	46. 6. 11	酒 直 小	交通指導模擬道路設置
	46. 8. 10	〃	プール竣工
	46. 8. 10	栄 中	校地7畝拡張
	47. 9. 22	酒 直 小	体育倉庫建築
	47. 10. 1	栄 中	交通安全模擬道路設置
	48. 3. 20	布 鎌 小	体育館新築落成
	48. 8. 6	安 食 小	プール竣工
	49. 3. 18	北 辺 田 小	体育館新築落成
	49. 9. 19	布 鎌 小	プール竣工
	50. 3. 28	酒 直 小	新校舎新築落成、創立100周年記念式典
	50. 10.	布 鎌 小	東校校地拡張
	50. 11. 3	〃	創立100周年記念式典挙行
	52. 7. 27	栄 中	改築落成竣工
	54. 4. 11	北 辺 田 小	新校舎新築落成及校地拡張 529 m ²
	57. 2. 1	布 鎌 小	東校職員室を普通教室に改修
		〃	東校用務室を職員室に改築
		〃	東校体育倉庫、自転車置場新築
	57. 4. 15	安 食 小	校舎増改築竣工
	58. 3. 7	酒 直 小	体育館新築落成
	58. 4. 1	安 食 台 小	安食小学校より分離創立開校、安食台小学校と称する
59. 8.	栄 中	プレハブ教室（116 m ² ）増築	
59. 9. 10	〃	排水工事、グリーンコート完成	
60. 3. 8	安 食 台 小	体育館新築落成	
60. 4. 4	〃	プレハブ教室、3教室増築	
60. 6.	北 辺 田 小	プール改修工事	
60. 8. 1	安 食 台 小	プール竣工	
61. 3.	栄 中	第2プレハブ校舎新築（324 m ² ）	
61. 4. 4	安 食 小	特殊学級「さざんか学級」開設	
61. 8. 28	布 鎌 小	プレハブ特別教室（115 m ² ）	
61. 8. 29	酒 直 小	プレハブ4教室（324 m ² ）	
61. 12. 19	安 食 台 小	校舎増築9教室（1,458 m ² ）	
62. 1.	給食センター	南ヶ丘に給食センターを新設	
62. 3. 31	栄 中	プレハブ4教室、理科室1教室（446 m ² ）増築	
63. 2. 10	酒 直 小	校舎増築、普通教室7、特別教室3（1,817 m ² ）	
63. 4. 5	栄 東 中	栄中学より分離開校し、栄東中学校と称する。普通教室9、特別教室9（5,149 m ² ）、体育館新館（2,423 m ² ）	
平成	元. 4. 1	竜角寺台小	酒直小より分離開校し、竜角寺台小学校と称する。普通教室12、特別教室7（3,763 m ² ）
	2. 3. 26	〃	体育館新館（1,628 m ² ）落成
	2. 4. 1	栄 中	特殊学級 開設
	2. 8. 27	〃	校舎増築、普通教室14、特別教室6（3,448 m ² ）

平	2. 8. 30	布 鎌 小	校舎改築、普通教室 12、特別教室 6 (3,431 m ²)	
	3. 3. 30	竜角寺台小	プレハブ 6 教室 (602 m ²) 増築	
	3. 3. 30	安 食 台 小	プレハブ 4 教室 (365 m ²) 増築	
	3. 4. 1	安 食 小	特殊学級「ことばの教室」開設	
	3. 9. 30	栄 中	屋内運動場兼柔剣道場新築 (4,150 m ²) (多目的教室・木工室・金工室・柔剣道場)	
	3. 11. 31	栄 中	校庭整備	
		〃	自転車駐車場新築 (594 m ²)	
	4. 10. 14	安 食 小	大規模改修工事 (屋上防水改修、便所改修)	
	5. 6. 15	〃	大規模改修工事 (建築、電気、給排水)	
	6. 12. 6	竜角寺台小	トイレ増改修工事	
	7. 4. 6	布 鎌 小	体育館倉庫増設工事	
	7. 8. 28	〃	プール改修工事	
	7. 12. 22	栄 東 中	災害復旧工事 (法面整形、張り芝工)	
	8. 4. 15	安 食 小	プール改修工事	
	10. 6. 19	栄 中	大規模改修工事 (建築、電気、給排水)	
	11. 10. 21	酒 直 小	プール改修工事	
	11. 11. 8	安 食 小	災害復旧工事 (法面整形、擁壁工)	
	12. 3. 31	布 鎌 小	統合により東校閉校	
	成	12. 7. 10	酒 直 小	大規模改修工事 (建築、電気、給排水)
		13. 4. 1	安 食 小	情緒障害特殊学級 開設
		酒 直 小	東側校舎大規模改築工事完了	
		〃	鳥小屋及び灯油倉庫新規設置	
13. 8.		栄 中	多目的ホール床張替え工事完了	
13. 9.		〃	旧体育館老朽化のため取壊し	
13. 11.		安 食 台 小	体育館屋根塗装	
14. 3. 31		竜角寺台小	校門脇植栽工事完了	
14. 4. 1		酒 直 小	知的障害特殊学級開設	
15. 3. 30		安 食 小	屋内運動場竣工式	
15. 3. 31		栄 東 中	知的障害特殊学級閉級	
15. 4. 1		安 食 台 小	情緒障害特殊学級、ことばの教室開設	
15. 4. 1		竜角寺台小	情緒障害特殊学級開設	
15. 7. 28		安 食 小	旧体育館老朽化のための取り壊し	
15. 9. 19		栄 東 中	技術棟改修工事	
15. 9. 24		安 食 小	本校舎耐震改修工事完了	
16. 4. 1		北 辺 田 小	知的障害特殊学級開設	
16. 4. 1		布 鎌 小	知的障害特殊学級開設	
17. 4. 1	栄 東 中	知的障害特殊学級再開		
18. 4. 1	布 鎌 小	情緒障害特殊学級開設		
18. 4. 1	栄 東 中	情緒障害特殊学級開設		
18. 11. 30	栄 中	本校舎大規模改修、耐震改修工事完了		

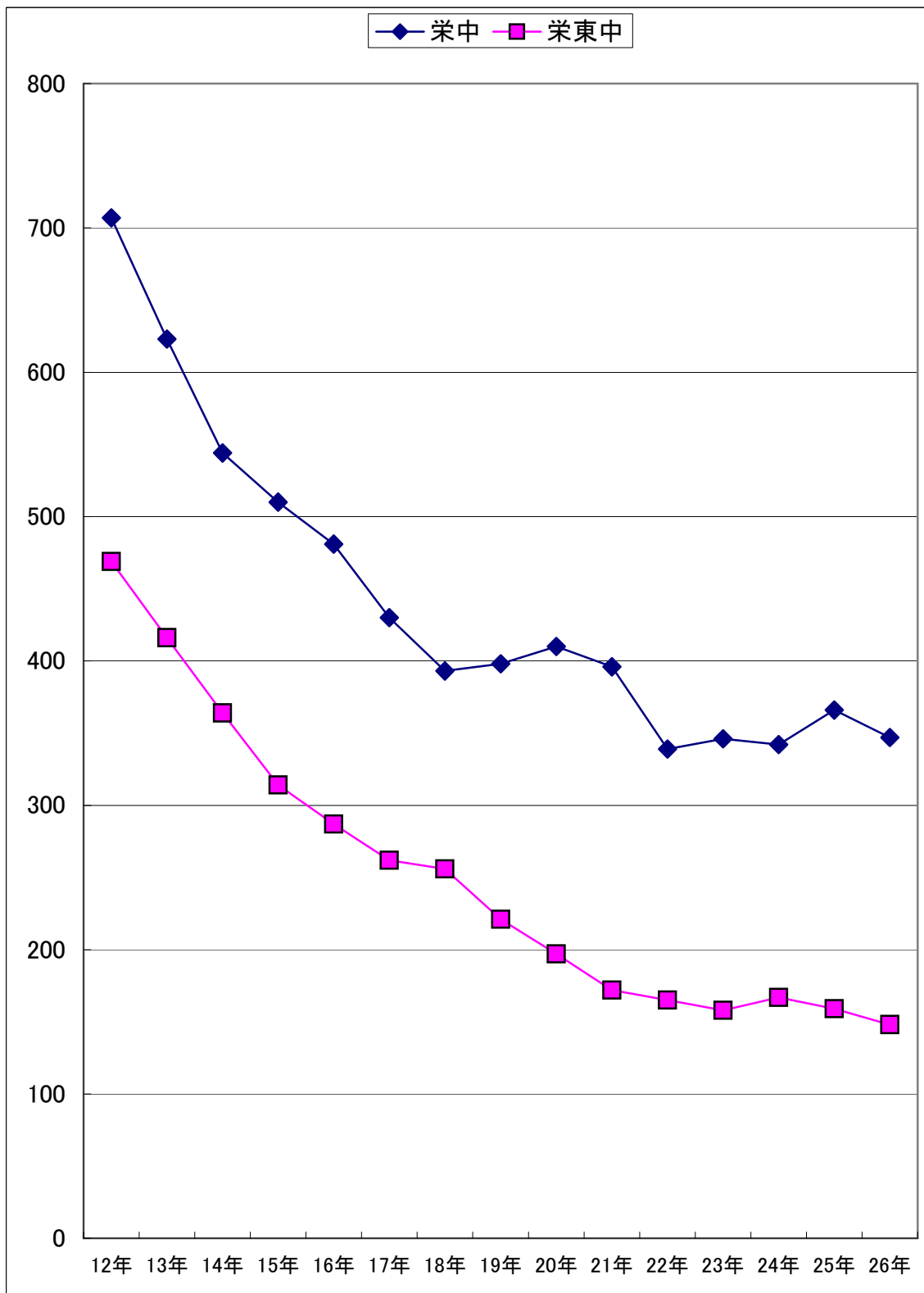
5. 小・中学校児童生徒の推移

小学校別児童数推移表



※ 推計値は、平成 20 年 5 月 1 日現在の住民基本台帳による。また、社会的増減は含まない。

中学校別生徒数推移表



※ 推計値は、平成 20 年 5 月 1 日現在の住民基本台帳による。また、社会的増減は含まない。

4 学校給食センター

1. 学校給食センター概要

1-1 施設・設備

- ア. 所在地 千葉県印旛郡栄町南ヶ丘1丁目1番
イ. 建設年度 昭和61年度（昭和62年1月供用開始）
ウ. 施設規模
- (1) 施設面積 2,430.72 m²
 - (2) 調理能力 5,000食/日
 - (3) 調理方式 ドライシステム
 - (4) 建物 構造 鉄筋コンクリート一部2階建て
面積 1257.45 m²
1階 917.46 m²
2階 339.99 m²
 - (5) 事業費 317,245千円

1-2 学校給食の歩み

- 1) 昭和35年布鎌小学校における単独校方式による給食が始まる。
- 2) 昭和39年小学校5校、中学校2校（1,650食）の町内全学校を対象として、センター方式により本格的にスタートした。
- 3) 米飯が給食に導入される。
昭和49年6月～月1回
昭和51年5月～週1回
昭和54年9月～週1.5回
昭和55年9月～週3回
- 4) 昭和61年度新給食センターの建設
- 5) 昭和62年1月供用開始

1-3 給食実施状況

(平成20年5月1日現在)

区分	給食数(人)
安食小学校	368
安食台小学校	204
酒直小学校	111
竜角寺台小学校	225
北辺田小学校	83
布鎌小学校	109
栄中学校	437
栄東中学校	215
給食センター	22
合計	1,774

1-4 給食費の推移

単位：円

年度	小学校	中学校
～47	1200	1300
48～49	1800	2000
50～51	2300	2500
52	2500	2700
53～55	2800	3100
56～59	3100	3500
60～63	3400	3900
元～3	3550	4100
4～8	3700	4300
9～	4200	4800

1-5 学校給食の目標（学校給食法）

- (1) 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うこと。
- (2) 学校生活を豊かにし、明るい社交性を養うこと。
- (3) 食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図ること。
- (4) 食糧の生産、配分及び消費について正しい理解に導くこと。

学校給食は成長期の児童・生徒に、栄養のバランスのとれた食事を提供し、健康の増進と体位の向上を図るものであるが、同時に「食事」という人間にとって最も基本的な活動を通じて、しかも集団で食事をするという体験を通じて教師と児童・生徒及び児童・生徒相互が、好ましい人間関係を深め、学校生活を豊かにするものである。また係活動・当番活動・班内の役割分担等を通じて自主性や自立性、正しい勤労感の協力・責任感等豊かな人間性の育成についても期待されるところが大きい。

1-6 給食指導の充実

学校給食がねらいとする望ましい食生活習慣の形成を効果的に達成するためには、食事と栄養に関する正しい知識を習得させるなど給食指導の充実や、児童・生徒が楽しく満足して食べることができるよう食事内容を多様化するなど、食事に対する関心を高める工夫が必要である。このため、各研修会を開催して栄養士職員や給食職員の資質向上に努めるとともに、学校訪問等を通じて児童・生徒に直接の給食指導及び嗜好調査を行うことにより指導及び食事内容の充実に努める。

研修事業名	回数	目 的	内 容
栄養士研修会	19	給食指導、栄養管理、食品管理、衛生管理などの専門的知識の修得に努める。	給食指導及び献立研究 衛生管理及び食品管理 栄養職員のあり方等
給食調理員研修会	3	調理技術、食品管理、衛生管理などの専門知識や技術の向上を図る。	講演 調理実習等
学校訪問	41	給食指導及び食事内容の充実	児童・生徒に直接の給食 指導及び嗜好調査

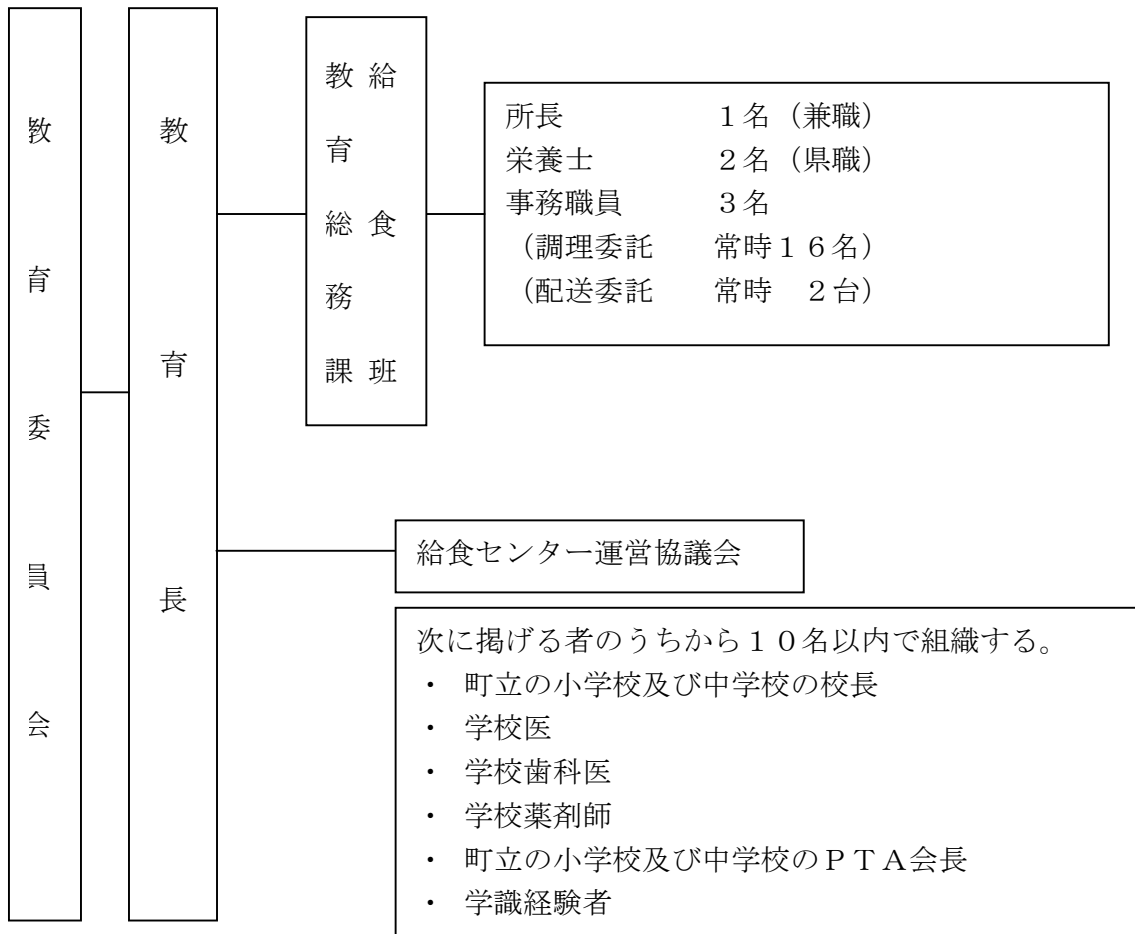
(1) 円滑な給食運営の確保

円滑な給食運営に資するために、より衛生的で安全性・機能性に優れた給食施設の整備に努めるとともに、老朽化した給食施設・設備の更新を行う。

(2) 安全性の確保

- 食品検査の指導及び実施
- 細菌検査の実施（毎月2回）
- 健康診断の実施（年1回）

1-7 運営の組織



5 社会教育

1. 社会教育の充実

重点目標

- ①多様化する住民ニーズにこたえる社会教育の体制の整備を図る。
多様化した学習要望に対応するために、各種学習機会・情報の提供及び自主学習の支援に努める。
- ②青少年の健全育成を図る。
時代を担う青少年の豊かな人間形成を図るとともに、家庭や地域での教育機能の活性化を図る。

事業概要〈社会教育の充実〉

1 成人教育

①家庭教育支援事業

親が子どもに対して人間形成を身につけさせるための教育で、学級を一定期間にわたり計画的・継続的・集団的に学習し、家庭のなかで実践できるよう町内各小中学校の協力を得ながら実施する。(小学校6校、中学校2校)

手引き書『育て千葉っ子』『家庭教育手帳』『家庭教育ノート』

②人権教育

人権教育の課題である自由と平等の原則に基づき、全ての人々が基本的人権を尊重する精神を涵養し、実践力の育成を図るとともに、人権問題に対する認識を深め差別のない町づくりを推進する。

ア 各研修会への参加を通して、指導者の養成を行う。

イ 家庭教育学級や、いきいき塾さかえなどの講座に人権教育の学習を取り入れ、人権問題に対する理解と啓発を図る。

ウ 人権週間を中心に、地域住民の認識を深めるために、広報紙掲載等の活動を行う。

エ 低年齢期から人権問題等に関する意識の向上を図るため、学校教育との連係を図る。

③栄町PTA連絡協議会

町内の小学校6校、中学校2校のPTAで組織し、会議及びスポーツ大会、研修会等を開催し、PTA活動の向上と相互の連絡や親睦を図る。

総 会 5月10日(土) 町PTA連絡協議会

会 議 町PTA連絡協議会理事会

印旛郡市PTA連絡協議会理事会

行 事 町PTAバレーボール大会

夏季・冬季休業中における校外巡回指導

町PTA視察研修会

印旛郡市PTA視察研修会

④各種団体支援

社会教育団体として認定している団体等を支援する。

事業概要〈青少年の健全育成〉

1 青少年教育

①青少年育成栄町民会議

栄町の青少年育成関係団体等が連携・協力し、行政施策に呼応することにより、実態に即した青少年健全育成活動を推進する。

事業計画

青少年育成栄町民会議・講演会	平成20年11月29日（土）
テーマ	インターネット時代における青少年の健全育成
町内巡回指導	通年

②栄町子ども会育成連絡協議会

子ども会育成連絡協議会は、単位子ども会5団体で12名の役員で構成され、構成の単位子ども会相互の連絡提携を強化し、子ども会活動の発展と、町内外の諸団体との連絡調整を図ることを目的に活動をしている。

事業計画

子ども会育成連絡協議会総会	4月29日（火）
子ども会育成連絡協議会役員会議（年4回）	4月～翌年2月

※栄町青少年相談員連絡協議会事業と一部連携している。

③栄町青少年相談員連絡協議会

栄町青少年相談員連絡協議会は、33人の相談員で構成され、町内の青少年活動を推進するとともに、社会環境の浄化、青少年の体力の向上を図り、健全な家庭づくりを推進し、青少年の非行防止のために率先してボランティアとして働くことを目的に活動している。

事業計画

青少年相談員連絡協議会総会	4月27日（日）
青少年相談員連絡協議会会議	4月～翌年1月（年間5回）
オールナイト・ハイク	7月25日（金）～26日（土）
ユニカール&たこ作り教室	12月14日（日）
成人式において「宝舟」を作成	平成21年1月10日（土）
たこあげ大会	平成21年1月17日（土）
その他各種イベント等への協力	

※栄町子ども会育成連絡協議会事業と連携

④栄町成人式

成人したことを自覚し、社会の一員として活躍していく青年を祝い励ますために成人の日
にふれあいプラザさかえ文化ホールで実施している。

なお、平成12年より国民の祝日に関する法律の一部改正により成人の日が1月の第2月曜日であるが、成人の前日の日曜日に成人式を開催する。

平成21年の成人式該当年月日については、昭和63年4月2日～平成元年4月1日までが対象である。

平成21年成人式 平成21年1月11日（日）

⑤地域環境浄化活動

青少年を取り巻く地域の環境浄化を推進するために、町内に設置されている有害図書等の調査を実施し、環境浄化に努める。

⑥通学合宿

子どもたちが親元を離れ、団体生活の中で日常生活の基本を自分自身で行いながら生活する中で、社会性、自主性、協調性を伸ばし、親への感謝の気持ちを高め、心豊かでたくましく生きる力を育む。また、ボランティアスタッフとして地域住民が子どもたちの活動に主体的に関わることで、地域のつながりを深め、地域教育力の向上を図る。

事業計画

日 程	平成20年9月23日(火)～25日(木)	2泊3日
対象児童	安食台小学校5・6年生	
宿泊拠点	ふれあいプラザさかえ 「悠遊亭」	

2. 文化の創造

重点目標

①芸術・文化活動の振興

町民の芸術・文化活動と場の提供を図るとともに、伝統文化の保護・育成を促進し、活性化を図る。

②文化財の保護

町内に所在する歴史的遺産や文化財を保護・活用し、文化財保護の理念を啓発する。

事業概要

①芸術文化活動

芸術愛好家の発表の場と町民の芸術・文化にふれることのできる鑑賞の機会を提供するとともに芸術・文化団体の育成を図る。

事業計画

文化の杜2009

第14回ふれあいプラザ祭り 平成21年3月7日(土)～8日(日)

*会場は、ふれあいプラザさかえの各室及び文化ホールで開催。

②文化財の保護

埋蔵文化財

当町には、国指定史跡岩屋古墳や浅間山古墳を擁する龍角寺古墳群をはじめ、80ヶ所近くの遺跡が分布している。特に、酒直・龍角寺地区には、古代律令国家形成期の重要な遺構・遺物を包蔵する遺跡が集中している。これらの遺跡に眠る歴史資料は埋蔵文化財と呼ばれ、一度破壊してしまうと元にもどすことはできないという性質をもっている。それゆえ、昭和25年に制定された文化財保護法では、周知の埋蔵文化財包蔵地において開発等の土木工事を行う場合には、事前に発掘調査を行うことが定められている。

なお、埋蔵文化財に伴う発掘調査のフローについては、次頁のとおりである。

指定文化財

当町に由来する国・県・町指定の文化財は、平成20年9月現在、11件を数える。

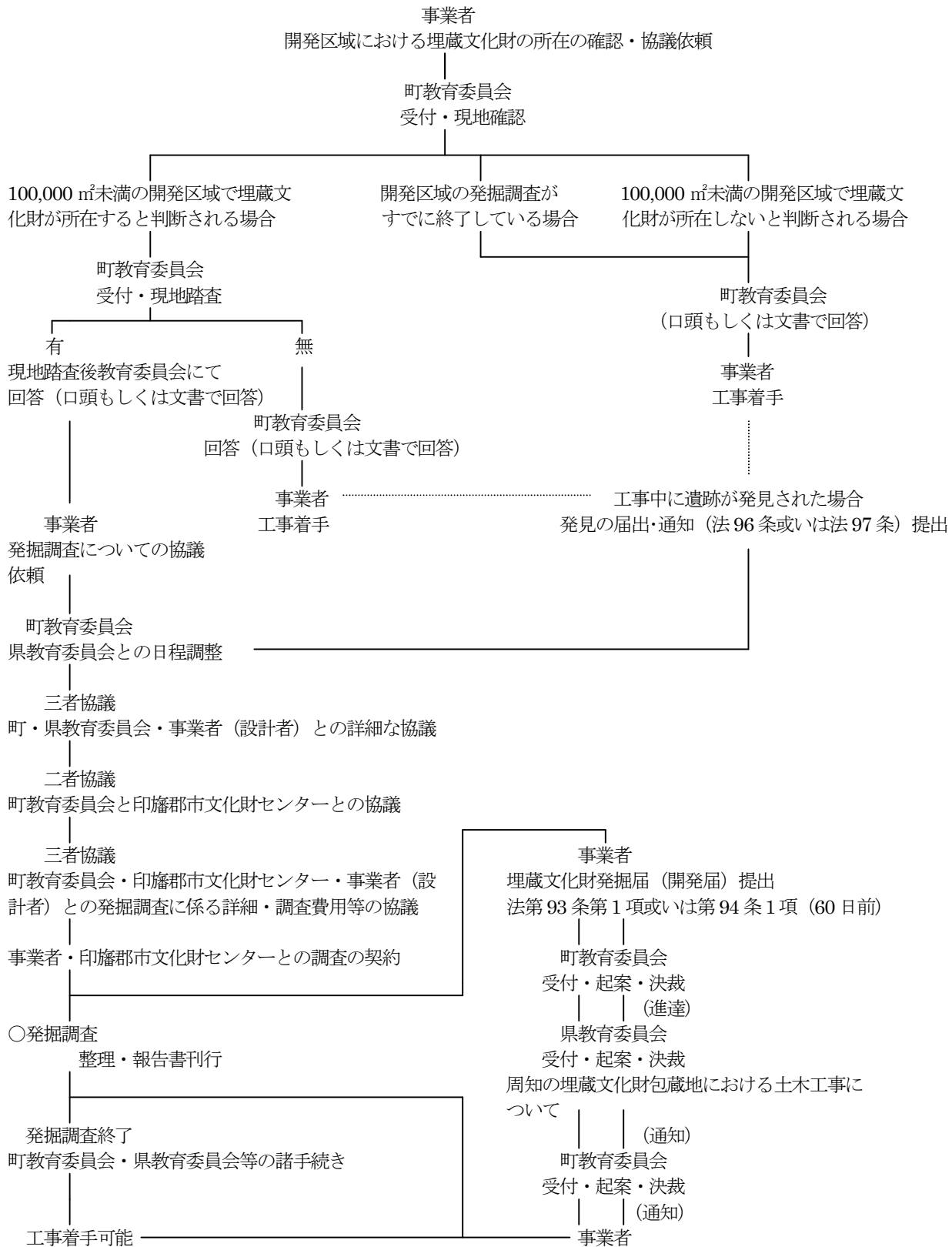
国指定史跡については岩屋古墳から龍角寺古墳群全体への拡大・追加指定を進めて、保護・活用を図る。県指定及び町指定文化財については、町史編さん事業と連繋し、指定件数の増加を図っていく。

なお、各指定文化財は、一覧表のとおりである。

◎栄町の指定文化財一覧表

区分	番号	種類	名 称	所在地	所有者	指定年月日	員数(面積)
国	1	有彫	銅造薬師如来坐像	龍角寺 239	龍 角 寺	S8. 1. 23	1 軀
	2	記史	龍角寺境内の塔趾	龍角寺 224-2	龍 角 寺	S8. 4. 13	14. 88 m ²
	3	記史	岩屋古墳	龍角寺 1601 他	龍角寺区他	S16. 1. 27	8, 722 m ²
県	1	有考	龍角寺出土遺物	龍角寺 239	龍 角 寺	S40. 4. 27	一括
町	1	有古	酒直区有文書	酒直 638	酒 直 区	S52. 4. 1	1 点
	2	有彫	布鎌八十八番大師	布太 49	雙 林 寺	S52. 4. 1	1 軀
	3	有建	日枝神社本殿	麻生 277	日枝神社	H13. 4. 1	1 棟
	4	有建	駒形神社本殿	安食 1	駒形神社	H13. 4. 1	1 棟
	5	有建	大鷲神社本殿	安食 3620-1	大鷲神社	H13. 4. 1	1 棟
	6	有建	雙林寺八十八番大師堂	布太 49-1	雙 林 寺	H13. 4. 1	1 棟
	7	有建	布鎌惣社水神社本殿	西 199	水 神 社	H13. 4. 1	1 棟

埋蔵文化財の手続き



【県補助対象埋蔵文化財発掘調査】

- 個人住宅建築は補助金の対象になる場合があります。要望書は前年度の6月までに提出し、農地転用・建築申請書を添付のうえ、町教育委員会と協議してください。(注：諸手続き終了後、調査は次年度に着手)

③伝統文化

町内には、北辺田・矢口地区に三匹獅子舞が伝えられており、毎年4月にオコトが行われる。

北辺田獅子舞

中世から伝承されるといわれる雄獅子・中獅子・雌獅子の三匹獅子。毎年、4月初旬に行われる五穀豊穰・お家安泰を祈願する奉納舞。舞は西寺から天神社、民家、そして蓮常寺へと巡りながら各所で行われる。楽は笛、太鼓、「華がかり」「本獅子」「華納め」が舞われる。

現在は、昭和49年設立の北辺田獅子舞保存会によって伝承され、演じられている。30歳代～40歳代が中心で、地域の小学校で児童に舞を教授している。

矢口獅子舞

江戸時代から伝承されるといわれる三匹獅子。毎年、4月上旬、一之宮神社境内で行われる五穀豊穰・お家安泰を祈願する奉納舞。「本獅子」が舞われるが、他に「芝ノ舞」「ヤク獅子の舞」「喧嘩ノ舞」「葉ノ舞（葉がかり）」「葉納めノ舞」がある。

現在は、平成14年設立の矢口獅子舞伝承会によって伝承され、30歳代～50歳代を中心に演じられている。

④町史編さん事業

栄町史の編さん・刊行

栄町の歴史、文化遺産等を史実に基づき、調査、収集及び記録し、永く後世に伝え、愛郷心の高揚を図るとともに町勢の発展に寄与することを目的として、町史を刊行する。

地域史料の整理・保存

地域の共有財産である自治組織等（区、町内会、自治会）管理文書を中心に記録史料の整理保存作業を実施する。

公文書等の歴史資料の保存・利用

公文書館法に基づき、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関し、適切な措置を講ずるよう体制の整備を行い、後世の町民に伝えるよう推進する。

また、栄町行政文書管理規則及び同規程に基づき、保存期間の満了した行政文書等の収集整理を実施する。

- ・ 栄町史編さん委員会会議
- ・ 資料収集活動
- ・ 専門委員調査
- ・ 整理保存作業
- ・ 古文書解読筆耕作業
- ・ 地域史料公開の推進

3. 社会体育の充実

重点目標

レクリエーションイベントの実施

現在、日常生活において学習・仕事でのO.A化等により体を動かす機会の減少や、地域・職場での人間関係の希薄化が進んでいる。それらを解消するためスポーツを通じたコミュニティ活動の形成及び地域間交流を促進する手法としてスポーツ・レクリエーションイベントを実施する。

事業概要

社会体育関係団体の活動推進

①体育指導委員協議会

栄町体育指導委員協議会は現在10人の委員で構成され、生涯スポーツの推進役として地域住民が継続的なスポーツ活動ができるよう、事業の企画・運営を行い、スポーツ振興の活性化を図っている。

②体育協会

栄町体育協会はスポーツを通じて多くの町民が体力及び技術向上と日常生活の一部としてスポーツに親しめるよう、各種大会・講演会等を実施し、町スポーツ事業の推進を図っている。

社会体育活動の充実

①社会体育事業

事業名	開催日	会場
軽スポーツ教室（スポーツ吹き矢）	毎月第2土曜日	ふれあいプラザ内展示ロビー
第10回さかえオープンゴルフ大会	6月4日（水）	ザ・カントリークラブグレンモア
第59回印旛郡市民体育大会 総合開会式 競技日程（相撲・弓道・野球・サッカー） （ゴルフ） （6競技） （12競技）	7月5日（土） 13日（日） 16日（水） 19日（土） 20日（日）	（印東地区 5市町） 酒々井町・佐倉市・四街道市・八街市・富里市
町民プール開放 竜角寺台プール	7月19日（土）～ 8月10日（日） 土・日曜日	竜角寺台プール
ふれあいハイキング	8月6日（水） 11月7日（金）	日光 川治（予定）
2008 町民運動会	10月11日（土）	安食台第1近隣公園
第4回栄町長杯チーム対抗綱引き大会	10月11日（土）	安食台第1近隣公園
第78回印旛駅伝競走大会	12月7日（日）	佐倉市～印西市
2009 さかえまち利根リバーサイドマラソン大会	平成21年 2月8日（日）	ふれあいプラザ～矢口

②体育施設

◇水と緑の運動広場

施設	使用料(1時間単位)	概要
野球場	一般 1,440円(町外2,880円) 高校生 720円(町外1,440円) 小中学生 360円(町外720円)	両翼 90m センター 120m
テニスコート	一般 460円(町外920円) 高校生 230円(町外460円) 小中学生 70円(町外140円)	全天候4面 ナイター使用不可
多目的広場	一般 720円(町外1,440円) 高校生 360円(町外720円) 小中学生 無料	さまざまなレクリエーションに利用できる。

◇房総のむら多目的広場

施設	使用料(1時間単位)	概要
テニスコート	一般 450円(町外900円) 高校生 220円(町外440円) 小中学生 無料	全天候2面
芝生広場	1時間以上専用する時は、許可を有する。	軽スポーツやレクリエーション等

◇町民グラウンド

施設	使用料(1時間単位)	概要
Aグラウンド (河川敷)	一般 330円(町外660円) 高校生 160円(町外320円) 小中学生 無料	野球やさまざまなレクリエーション等
Bグラウンド (河川敷)	一般 330円(町外660円) 高校生 160円(町外320円) 小中学生 無料	野球やさまざまなレクリエーション等
Cグラウンド (河川敷)	一般 330円(町外660円) 高校生 160円(町外320円) 小中学生 無料	サッカーやさまざまなレクリエーション等

◇学校施設

施設	使用料(1時間単位)	概要
体育館	140円	学校・町関連事業に支障のない範囲で開放
グラウンド	無料	学校・町関連事業に支障のない範囲で開放

◇町民プール

施設	使用時間等
竜角寺台プール	一般開放 7月19日～8月10日 土・日曜日 開放時間 10:00～12:00 13:00～16:00 (無料)

③学校体育施設（利用状況）

学校名	体育館	校庭	利用団体数
安食小学校	卓球、剣道、バレーボール、インディアカ、ミニバスケット		8
北辺田小学校	和太鼓		1
酒直小学校	インディアカ、バレーボール、卓球、	サッカー	6
布鎌小学校	バレーボール		1
安食台小学校	バドミントン、卓球、バレーボール、ユニカール、ミニバレー、ミニバスケット		9
竜角寺台小学校	バスケットボール、バレーボール、バドミントン、インディアカ、ソフトバレー、フットサル、ミニバレー、バトントウワリング	サッカー、陸上	9
栄中学校	バスケットボール、卓球、フットサル、バレーボール		8
栄東中学校	バレーボール、バドミントン	陸上	3

4. 生涯学習の推進

重点目標

①生涯学習推進体制の充実

子どもから高齢者まで町民だれもが学びたいときに学びたいことが学べ、そして学んだことを生かして行政と一体となって協働のまちづくりを行う人づくりの一端をになうために、住民がどのような学習を望んでいるのかを把握し、様々な分野の学習プログラムと学習の場を提供して、学習したことをまちづくりに生かし、行政と住民が一体となったまちづくりを行うために、生涯学習推進体制の充実に努める。

事業概要

①いきいき塾さかえ事業（町民大学整備事業）

個々の学習意欲と、年齢や価値観、社会情勢によって変化する学習ニーズに的確に答えるため、必要とされる学習を迅速に提供するために「いきいき塾さかえ」において、様々な学習提供をする。

②生涯学習啓発事業の実施

町民一人ひとりの生涯学習の関心を高め、意欲を誘発するような啓発活動を展開していく。

- ・学習アドバイザー事業
- ・学生ボランティア育成事業
- ・町民ボランティア受入れ事業

③余裕教室等の活用事業

より身近な学習の場や地域に根ざした団体の活動拠点としての余裕教室の有効利用を図る

ために、各小学校区の「ふれあい推進委員」の活動支援をする。

平成20年度は、北辺田小学校区ふれあい推進員・酒直小学校区ふれあい推進員に対し支援を行うと共に、未設置小学校区ふれあい推進委員の立ち上げを支援する。

北辺田小学校区ふれあい推進員活動計画

- ・ ふれあい盆踊り大会 平成20年8月3日(日)開催
金魚すくい、PTAの模擬店、花火の打ち上げなど
- ・ 球技大会(ドッチボール大会) 平成20年11月15日(土)開催予定
もちつき体験同時開催

酒直小学校区ふれあい推進員活動計画

- ・ 軽スポーツ大会(グランドゴルフ大会) 平成20年7月5日(土)
- ・ ふれあいまつり 平成20年10月25日(土)開催予定
ミニゲーム・駄菓子・PTAバザーなど
- ・ かるたとり大会&料理教室 平成21年1月31日(土)開催予定
かるたとり・百人一首大会、ケーキ作り

6 社会教育の概要 (平成19年度実績)

社会教育関係行事概要（平成19年度実績）

（事業名） 家庭教育学級	
（目的） 両親等が家庭教育に対する学習を一定期間にわたって計画的・継続的に集団で学習し、地域の家庭教育に対する関心を高めていく。	
（日時） 平成19年4月1日～平成20年3月31日	
（場所） 小・中学校	
（内容） <ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとに地域の特色を活かした家庭教育を実施した。 ・内容については、講演会・視察研修・実技研修・座談会等多岐にわたっている。講師も多方面から招き、講演を行っている。 ・広報紙も発行され、学習内容の伝達・家庭教育学級の啓蒙に役立てている。 ・小・中学校ともそれぞれニーズに応じた講座の内容が決められているので大変好評である。 	

（事業名） ジュニアリーダー養成講座	
（目的） 地域社会における子ども会活動の中心となって活動するリーダーに子ども会運営に必要な知識、技能を習得させリーダーとしての資質の向上を図り子ども会活動の促進を図る。	
（日時） 平成19年6月3日（日）～通年	
（場所） 安食小学校体育館他	（参加者） 20名
（内容） 各単位子ども会及び各小学校より募集したジュニアリーダー20名が受講した。 講座回数 6回 場所 安食小学校体育館他 宿泊研修 1回 期日 平成19年7月15、16日 場所 酒直小学校 内容 飯盒炊飯、キャンドルファイヤー等	

（事業名） 青少年健全育成栄町民会議・講演会	
（目的） 町内青少年育成関係団体や関係機関の長が一堂に集まり青少年の健全育成活動について協議を行い、本年度は「地域と家庭の連携」をテーマに講演会を開催し、町民がそれぞれの役割を再認識する機会を創造した。	
（日時） 平成19年11月11日（日） 13時30分～	
（場所） ふれあいプラザさかえ 大会議室	（参加者） 81名
（内容） ・公演「学校、家庭、地域が連携し合って子供たちを育むために」 講師：北辺田小学校 校長 片野 信一 氏	

(事業名) ユニカール大会・たこ作り教室、新春たこあげ大会	
(目的) 寒さが増すこの時期に運動不足を補うため誰でもが簡単にスポーツできるユニカール大会を実施し、その後子どもたちが自分の手で作る凧作りを行い、新春に作成した凧を持ちより競うことによって楽しさや喜びを味わう。	
(日時) 平成19年12月16日(日) 平成20年1月26日(土)	
(場所) 安食小学校体育館 水と緑の運動広場	(参加者) 90名
(内容) 栄町子ども会連絡協議会と栄町青少年相談員連絡協議会が主体となり、共同事業として、午前中にユニカール大会を行い、午後から手作りのこの作成指導を行った。また、自ら作成したこの飛び具合を競い楽しむ新春たこあげ大会を開催し、参加者に雑煮を振舞いベーゴマなどの昔遊びコーナーなども設け、日本の伝統的な遊びや食を体験してもらうことができた。	

(事業名) 栄町成人式	
(目的) 成人したことを自覚し、社会の一員として活躍していく青年を祝い励ます。	
(日時) 平成20年1月13日(日) 10:00～	
(場所) ふれあいプラザ文化ホール	(参加者) 272名
<p>(内容) ・式典</p> <p>祝い太鼓演奏～成人式実行委員紹介～</p> <p>開会のことば～町長式辞～恩師代表祝辞～成人者代表者挨拶～実行委員企画～</p> <p>閉会のことば～記念撮影</p> <p>該当者 男204人 女200人 計404人</p> <p>(出席率70.0%)</p> <p>・成人式実行委員会を組織し新成人による自主運営で行い、会場が一つになり思い出深いものとなった。</p>	

(事業名) 第9回さかえオープンゴルフ大会	
(目的) 健康・体力づくりとゴルフの楽しさの中から、人と人との融和を図り、奉仕と福祉に寄与する。	
(日時) 平成19年5月30日(水) 8:00～	
(場所) ザ・カントリークラブ グレンモア	(参加者) 84名
(内容) 栄町体育協会ゴルフ専門部主催により町内外から多数のアマチュアゴルファーが参加して行われた。	

(事業名) 第77回印旛郡市駅伝大会	
(目的) スポーツを通して恒久の平和を祈念し、青少年の体力の向上と不屈の精神を養い、あわせて生涯スポーツの振興を図る。	
(日時) 平成19年12月2日(日)	
(場所) 佐倉市～印西市	(参加者) 町代表1チーム
(内容) 歴史と伝統をもつ印旛郡市駅伝競走が、佐倉市と印西市の往復37.2kmで健脚を競った。 成績 一般の部 栄町 9位(15チーム中) 時間 2時間12分20秒 中学校の部 不参加	

(事業名) 軽スポーツ教室	
(目的) 一般町民を対象にして、手軽に楽しめる軽スポーツの紹介と普及を図り、併せて健康・体力づくりを増進する。	
(日時) 平成19年4月～平成20年3月の第2土曜日(12回実施) 9:30～11:00	
(場所) ふれあいプラザ展示ロビー	(参加者) 毎回約20名
(内容) 体育指導委員の指導により、軽スポーツを普及することを目的にスポーツ吹き矢教室等を実施した。	

(事業名) 町民プール一般開放	
(目的) 一般町民が水に親しむことにより、水の大切さを認識してもらい、体力の維持増進を図る。	
(日時) 平成19年7月21日(土)～8月12日(日)	
(場所) 竜角寺台プール	(延べ参加者) 1003名
(内容) 7月21日～8月12日までの毎週土・日曜日に開放 10:00～12:00 13:00～16:00 竜角寺台プール (25m×8コース・幼児用プール)	

(事業名) 第58回印旛郡市民体育大会	
(目的) 印旛郡市民の競技力・体力の向上とスポーツの普及を図るとともに、青少年の健全育成を図る。	

(日 時) 総合開会式 平成19年7月7日(土) 平成19年7月15日(日) 野球・相撲、19日(水) ゴルフ 平成19年7月21日(土) 8競技・22日(日) 14競技			
(場 所) 印西地区			(参加者) 307名
(内 容) 印旛郡市10市町村の代表者が、17種目24競技で競い合うスポーツの祭典。 総合成績 6位 町村の部 1位 入 賞 部 門			
団体の部			
優 勝	相撲、卓球男子		
準優勝	軟式野球、ソフトテニス男子・女子		
第3位	卓球女子、サッカー		
個人の部			
優 勝	30歳代男子砲丸投	藤田 俊一	9 m 8 6 c m
	一般女子砲丸投	大塚 光代	7 m 6 2 c m
	オープン男子槍投げ	重松 清隆	4 6 m 0 3 c m
準優勝	一般男子砲丸投	長内 修武	1 0 m 7 5 c m
	高校女子100m	藤ヶ崎美奈	1 6 秒 7 0
	共通女子800m	堀内 亜美	2 分 2 9 秒 6 5
第3位	共通男子5000m	武田 和則	1 7 分 1 1 秒 6 0

(事業名) 2007町民運動会			
(目 的) 町民総スポーツを目指し、広く町民のスポーツの祭典として、進んでスポーツに親しみ、また、健康を増進し、併せて相互の親睦を図る。			
(日 時) 平成19年10月6日(土) 8時40分から11時45分			
(場 所) 安食台第1近隣公園			(参加者) 350名
(内 容)			
	・団体競技は、みんなでジャンプ、ハイパー玉入れ、町長杯綱引きを行なった。		
	・個人競技は、町体育指導委員と町健康保険課とタイアップし、軽スポーツ教室、ウルトラ健康クイズ、立ち幅とび等を行った。		
	・町内ショートウォーキング(約3km)も行った。		
	・町長杯綱引き大会の結果		
	＜小学生の部＞ 優勝 北辺田ニュースターズAチーム		
	＜中学生・一般の部＞ 優勝 ねむの木チーム		

(事業名) 2008さかえまち利根リバーサイドマラソン大会	
(目的) 町民とのふれあい及び健康づくり、体力づくりを目的に体育行政の活性化を図る。	
(日時) 平成20年2月10日(日)	
(場所) ふれあいプラザ～矢口	(参加者) 737名
(内容) ふれあいプラザさかえから広い田園を駆け抜けると矢口工専地区で折り返す初心者向けのマラソン大会を行なった。 親子の部 1Km (優勝タイム 3分49秒) 一般男・女の部 10マイル (" 男子53分43秒・女子1時間04分02秒) 小学生男・女の部 2Km (" 男子7分35秒・女子8分02秒) 中学生男・女の部 5Km (" 男子15分39秒・女子17分23秒) 一般男・女の部 5Km (" 男子15分51秒・女子19分06秒)	

ふれあいプラザさかえ関係行事概要（平成19年度実績）

（事業名） いきいき塾さかえ事業	
（目的） 様々な学習機会を提供するとともに、その学習成果を生かして、町民と行政が一体となり協働のまちづくりを行う人づくりの一端を担う学習提供を行う。	
（日時） 平成19年4月～	
（場所） ふれあいプラザさかえ 他	（参加者） 延べ1100名
（内容） はじめてのパソコン教室、エアロビクス教室、栄カルチャークラブ協力講座など多種多彩な講座を実施した。	

（事業名） 夏のおはなし会と子ども映画会	
（目的） 子ども、保護者に絵本やおはなしの楽しさを知ってもらうことで、読書普及を図る。また平和教育の一環とした映画を上映する。	
（日時） 平成19年8月25日（土）	
（場所） ふれあいセンター・視聴覚室	（参加者） 78名
<p>（内容） 幼児・小学校低学年生及びその保護者らを対象とし、図書室ボランティアによる絵本の読み聞かせや素話を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本「なにをかこうかな」、「ながいながいへびのはなし」 ・ブラックライトシアター「アラジンと魔法のランプ」 ・紙芝居「ぴよんぴよんぼたもち」 ・映画スイミーの中から「さかなはさかな」「スイミー」 	

（事業名） クリスマスおはなし会（ピアノとおはなしのデュエット）	
（目的） 子どもたち、保護者に絵本やおはなしのおもしろさを知ってもらうことで、読書普及を図る。	
（日時） 平成19年12月16日（日）	
（場所） ふれあいセンター・音楽室	（参加者） 101名
<p>（内容） 幼児・小学校低学年生及びその保護者らを対象とし、図書室ボランティアによる読み聞かせとピアノ演奏とのデュエットを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネルシアター「やったねプレゼント」 ・大型紙芝居「ハリーのセーター」 ・ピアノとお話のデュエット「てぶくろを買いに」 ・ピアノ演奏「みんなであたおう」 	

(事業名) 子ども映画会	
(目的) 16ミリ映画会を通して、子どもたちに夢を与え、また、情操教育の一助とする。	
(日時) 平成19年6月23日(土)～10月27日(土)	
(場所) ふれあいセンター視聴覚室	(参加者) 延べ60名
(内容) 16ミリ映画 6月23日(土)「お母さんの木」 8月25日(土)「ロビンソン・クルーソー無人島の冒険」 10月27日(土)「またあえるねツバメ君」「杜子春」	

(事業名) 子ども映画会と人形劇公演	
(目的) 16ミリ映画会を通して、子どもたちに夢を与え、また、情操教育の一助とし、また、人形劇の作品を通して、生の舞台の感動を味わうことで、子どもたちの感性を磨き、絵本や読書への興味や関心を持たせる。	
(日時) 平成20年1月19日(土)	
(場所) ふれあいセンター視聴覚室・展示ロビー	(参加者) 70名
(内容) 16ミリ映画 ・「雪渡り」 ・「おにたのぼうし」 人形劇 ・「鬼のカーランコ」 ・「踊る指人形」	

(事業名) 2008文化の杜 第13回ふれあいプラザ祭り	
(目的) 町内在住の美術・芸術愛好家に発表の場を提供するとともに、町民に文化芸術を鑑賞する機会を提供し、町内芸術愛好家の育成と文化芸術意識の向上をめざす。また併せて町内芸術団体、サークルの交歓、交流の場とする。	
(日時) 平成20年3月1日(土)～2日(日)	
(場所) ふれあいプラザさかえ	(参加者) 延べ5,000名
(内容)	
<p>【ふれあいセンター部門】</p> <p>[1階] 作品展示・実演体験 花の会／華道サークル／短歌の会／栄町俳句会／栄町古文書学習会／装飾粘土サークル／あじきパッチワークサークル／写遊四季／手芸・七宝焼サークル／幼児サークルウルトラマン／着付けサークル／立礼茶道(カルチャークラブ)／スポーツ吹き矢(栄町体育指導委員協議会)</p> <p>[2階] 作品展示・実演体験 栄カルチャークラブ(短歌、てまり、書道、絵画、押し花、編み物、着付け・相談コーナー・パソコン) 囲碁、将棋の実演 栄町囲碁愛好会／栄町将棋会 お茶のお点前 茶道サークル</p> <p>[3階] 作品展示・実演 人形劇パレット／こども映画会／第一書の会／第二書の会／京春会／柳美会／仮名とペン字と書の会／さかえ書道サークル／秋桜の会／キャンパス栄／陶芸クラブ／陶遊会／あい編むサークル／ニットサークル／栄町朗読奉仕会／話し方教室(カルチャークラブ)／手話サークルあすなる／人前で話し方／着付け教室(カルチャークラブ)／フラダンス(カルチャークラブ)／サカエマジック／いきいき体操／自彊術</p> <p>【文化ホール部門】(各サークル30分間の演技、演奏)</p> <p>1日目:大正琴さざんか友の会／さかえハーモニー／オカリナサークル風の詩／トラウム会／フラメンコサークル／さわやかハーモニカクラブ／コール・クレッシェンド／ココナッツアイランド栄／弥生会／太極拳さかえ／フレンズダンスソサエティー／フィットネスサークル／栄町吟道愛好会</p> <p>2日目:安食あやめ会／カルチャーカラオケ／八重の会／カルチャーフラダンス／太極拳りんどろ／フィットネスサークル／手話ダンスさかえ／ファイアオカフラ／子供フィットネスサークル／栄町を愛する女性の会／あじきカトレアフラサークル／北辺田太鼓クラブ</p>	

平成19年度ふれあいプラザさかえ自主文化事業一覧

No.	事業名	実施年月日	種目	対象	券種	入場者数	備考
1	NHK「民謡をたずねて」	8月25日(土)	民謡	青少年 成年 高齢者	入場無料	692	
2	文化の杜 2008 第13回ふれあいプラザ祭り	3月7日(土) 8日(日)	発表	幼児 青少年 成年 高齢者	入場無料	5,000	
合 計						6,122	

社会教育関係認定団体

団体名	団体名	団体名
下総栄太鼓	栄町子ども会育成連絡協議会	ボーイスカウト栄第一団
栄カルチャークラブ	栄町青少年相談員連絡協議会	栄町を愛する女性の会
安食へら鮎釣研究会	栄町体育協会	

7 ふれあいプラザさかえ

1. 目 的

栄町は、首都圏のベッドタウンとして人口が急増し、農業を中心とした町から住宅都市へと大きく変貌しました。

その結果、本町においても余暇時間の過ごし方『生涯学習』が大きくクローズアップされ、ゆとり・潤い・個性・文化といった価値観を求める傾向が高まり、環境整備とともに、住民交流の場の整備が求められるようになりました。

「ふれあいプラザさかえ」は、本町における「水と緑の田園観光都市」をめざす主要施策の1つとして具体化されたもので、“ふれあい”をテーマに「ふれあいセンター」、「文化ホール」、「悠遊亭」を整備したものです。

これらの施設は、それぞれの機能分担による相互共同利用を図り、住民の地域や年代を超えた交流の拠点として、また生活文化の向上や活力ある地域づくりに資する施設として、大きな効果が期待されるものです。

2. 施設概要

- ① 所在地 千葉県印旛郡栄町安食938番地1
- ② 建設年度 平成4年度（着手）～平成6年度（竣工）開館
- ③ 施設規模
 - (1) 敷地面積 28,002㎡
 - (2) 延床面積 9,909㎡
 - (3) 施設 「ふれあいセンター」「文化ホール」「悠遊亭」
 - (4) 建設費 7,404,657千円
 - (5) 用地費 1,512,354千円

3. 施設内容

① ふれあいセンター

	施設名	規模 (㎡)	収容人数 (人)	備 考
1階	展示ロビー	491.68	378	展示パネル・展示ケース
	会議室(1)	104.44	26	円形テーブル・ホワイトボード・椅子20
	会議室(2)	68.71	42	ホワイトボード・机10・椅子30
	O A ルーム	140.50	36	椅子29
	資料閲覧室	68.79	36	机18・椅子36
2階	多目的ホール(1)	278.05	214	簡易音響調整卓・机10・椅子15
	多目的ホール(2)	207.08	159	簡易音響調整卓・椅子10・タッチパネル
	和室(1)	105.12	96	座卓10・衝立3・姿見9(畳48帖)
	和室(2)	52.56	48	座卓6(畳24帖)
	教育支援センター	103.29	79	ゆうがく館
	子育て情報・交流館	51.65	39	アップR
	図書室	243.12	187	一般書・児童書
3階	大会議室	206.37	156	机40・椅子120・演台・ホワイトボード
	視聴覚室	154.77	101	ビデオプロジェクター・簡易音響調整卓・机付椅子49・机2・椅子30
	音楽室(1)	277.82	150	椅子100・グランドピアノ・簡易音響調整卓・机2・ホワイトボード
	音楽室(2)	104.27	30	アップライトピアノ・椅子30・ドラムセット
	調理実習室	140.47	61	机4・丸椅子24
	工作室	138.29	37	机8・椅子32・ホワイトボード
	工芸陶芸室	157.68	46	机7・椅子30・電気熱窯・ホワイトボード
	合計	3094.66	1,921	

② 文化ホール

施設名	規模 (㎡)	収容人数 (人)	備 考
ホール客席	994.99	1,086	1階798席(内身障者用6席)・2階288席
ホワイエ	327.19	252	
楽屋①	35.17	16	
楽屋②	33.25	15	
楽屋③	33.5	15	トイレ
シャワー室①	27.06	3	
シャワー室②	21.87	7	
合計	1473.03	1,394	

[設備概要]

プロセニアム	間口 18.0m・高さ 7.0m・奥行 11.5m
舞台設備	各種幕類一式・音響反射版・スクリーン
照明設備	負荷回路 131+客席 16・イベント用分電 100A 調光方式 60 本 3 段プリセット・記憶 500 シーン
音響設備	モノラルインプット×20・ステレオインプット×4・AUX×4・グループ×4 マスター×3・マトリクス×16・電源 9Kw-C30 型 6 口、3Kw 平行 2 口
映写設備	16mm 映写機 2 台・35mm スライド映写機 1 台
ピアノ庫	フルコンサート用ピアノ (ベーゼンドルファー社モデル 275) フルコンサート用ピアノ (スタインウェイ&サンズ社モデルDニューヨーク)

③ 悠遊亭

施設名	規模 (㎡)	収容人数 (人)	備考
集会室・ステージ	243.23	180	囲碁・将棋セット

4. 年度別利用状況

	文化ホール		ふれあいセンター		悠遊亭	図書室	利用者
	回数	利用者数	件数	利用者数	利用者数	利用(貸出)者数	
H 6 年度	61	56, 881	3, 313	94, 724	26, 612	22, 560	200, 777
H 7 年度	138	51, 300	3, 877	128, 335	35, 645	25, 919	241, 199
H 8 年度	129	50, 249	4, 008	106, 108	37, 839	23, 343	217, 539
H 9 年度	102	41, 513	4, 123	111, 515	37, 709	21, 948	212, 685
H 1 0 年度	103	38, 004	4, 557	127, 887	35, 008	24, 671	225, 570
H 1 1 年度	91	35, 429	4, 659	135, 726	39, 392	22, 513	233, 060
H 1 2 年度	94	30, 846	4, 580	136, 272	37, 948	21, 469	226, 535
H 1 3 年度	95	35, 581	4, 591	151, 915	41, 134	19, 003	247, 633
H 1 4 年度	92	29, 547	4, 479	146, 248	36, 230	19, 469	231, 494
H 1 5 年度	95	32, 392	4, 566	159, 257	40, 036	22, 017	253, 702
H 1 6 年度	116	25, 554	5, 384	180, 482	37, 923	22, 064	266, 023
H 1 7 年度	78	19, 686	5, 188	153, 308	15, 353	17, 190	205, 518
H 1 8 年度	76	24, 429	5, 379	135, 645	12, 238	14, 231	186, 543
H 1 9 年度	67	26, 650	4, 800	128, 376	8, 249	12, 473	175, 748
合計	1, 339	498, 061	63, 504	1, 895, 798	441, 316	288, 851	3, 366, 538

5. ふれあいプラザさかえ文化団体育成事業の推進

重点目標

ふれあいプラザさかえを拠点とした、芸術文化団体の育成、援助の推進を図るなかで、既存の団体、また主催講座等をとおして文化団体の立ち上げの育成を図る。

事業概要

1. 文化団体育成事業

① 2009文化の杜 第14回ふれあいプラザ祭り

町内において、文化芸術の愛好者育成をめざし、町内在住の美術・芸術愛好家に発表の場を提供するとともに、町民に文化芸術を鑑賞する機会を提供してきた。参加者数の増減はあるものの今年14年目をむかえ、文化事業として歩みを進めている。今後は町内芸術団体、サークルの交歓、交流の場とすることにより、文化団体の中枢とする人材の育成を目指して行きたい。

なお、平成20年度は3月7日、8日に開催される。

② 団体交流事業

ふれあいプラザさかえ利用サークル、町内の芸術文化団体愛好者が相互の交流を図りながら学習成果の展示や発表の場を提供するとともに、町民との交流の場をつくる。

・ふれあいプラザ祭り

期日 平成21年3月7日(土)～8日(日)

③ 図書室事業

ふれあいプラザさかえ図書室は、現在蔵書約54,000冊配架しており、年間12,473人に利用されている。今後とも図書ボランティア等との連携の中で読書教育の充実を図り、より一層の利用促進を図る。

6. 視聴覚教育の推進

栄町の学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興を図ることを目的に昭和 60 年に設置された印旛中央視聴覚教材センター協議会は、平成 13 年度をもって廃止した。現在の管理及び運営は栄町単独で行っている。

① 基本方針

視聴覚教育は、学校教育及び社会教育における視聴覚教材の提供を中心とする諸活動を通し、教育効果の向上と地域住民の文化向上に努める。

② 重点施策

- ・視聴覚教材の利用促進に努める。
- ・視聴覚教材・機材の計画的充実に努める。
- ・視聴覚教育関係指導者と機材利用者の増員に努める。
- ・視聴覚教材センターの運営の充実に努める。
- ・近隣視聴覚ライブラリーとの連携を図る。

③ 具体的取組み

- ・16 ミリフィルム・ビデオテープの購入及びPR。
- ・視聴覚機器の計画的充実に努める。
- ・16 ミリ映写機の操作技術者の養成。
- ・教材目録の作成、視聴覚教育関係情報の収集と整理。
- ・各種研修会等への積極的な参加。

④ 保有機材・機材一覧

機 材

16 ミリフィルム映写機	4 台
スクリーン (大)	2 台
スクリーン (小)	1 台
スライド映写機	1 台
OHP	1 台
ビデオプロジェクター	2 台

教 材

16 ミリフィルム	62 本
ビデオテープ	215 本

⑤ 年度別利用状況(ビデオ及び16ミリフィルム)

月	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
4	12	7	7	4	16	19	2	4	5
5	11	7	10	8	9	12	0	3	1
6	5	7	6	6	8	16	0	0	5
7	25	6	13	6	5	33	3	4	2
8	14	3	5	6	8	28	2	4	4
9	15	7	5	4	0	9	0	10	2
10	4	2	8	6	2	22	1	6	0
11	18	5	8	6	5	22	0	6	0
12	15	6	6	10	4	14	0	4	2
1	13	3	3	7	1	3	1	0	0
2	12	0	5	5	1	8	0	4	5
3	18	3	7	17	0	6	2	0	0
合計	162	56	83	85	59	192	11	45	24

平成20年度ふれあいプラザさかえ自主文化事業一覧

No.	事業名	実施年月日	種目	対象	券種	備考
1	NHK「ふるさと自慢・うた自慢」 公開録音	7月4日(金)	カラオケ	青少年 成年 高齢者	入場無料 (全席自由)	
2	文化の杜2009 第14回ふれあいプラザ祭り	3月7日(土) 8日(日)	発表	幼児 青少年 成年 高齢者	入場無料	

別表

各種委員名簿

歴代教育委員及び教育長名

教育委員長

年度	教 育 委 員				教育長
	委 員				
昭和 32	齊藤正治	鳩谷正一	湯浅欣一	岩田義一	後藤重司
	↓	↓	↓	↓	↓
33				齊藤忠均	後藤慎平
	↓	↓	↓	↓	↓
34	椎塚岩雄	小川孝一	大久保四郎	伊藤茂治	梶谷儀助
	↓			↓	
35	湯原要太郎			藤江ナオ	
			↓		
36			岩田豊		
		↓			
37		大竹昇			
38					
			↓	↓	↓
39			高見春雄	湯浅裁樹	加藤米次
40		↓			
41					
42		大塚トキ			
	↓			↓	↓
43	田口正			石橋一太郎	大野潤一
44			藤崎忠一		
45					
		↓			
46		長澤良助			
	↓			↓	↓
47	岩田義一			山本喜一	石橋一太郎
48					
49					
50					
51	↓	↓	↓	↓	↓

5 2	岩田 義一	川島 一巖	藤崎 忠一	山本 喜一	石橋 一太郎
5 3					
5 4					
5 5	▼				
5 6					
5 7					
5 8					
5 9					▼
6 0	松島 一				坂本 幸男
6 1					
6 2		▼			
6 3					
平成元			▼		
		塩田 邦雄	大須賀 明		
2					▼
					梶谷 幸助
3					
4				▼	
				高見 洋一	
5					
6					
7					
8					
9					
1 0	▼	▼	▼	▼	▼

1 1	松島 一	塩田 邦雄	大須賀 明	高見 洋一	梶谷 幸助
1 2					↓ 牧野 隆
1 3	↓ 小松 省三		↓ 福本 朋子		
1 4					
1 5					
1 6					
1 7	↓ 芦田 坦	↓ 鈴木 初子			
1 8					
1 9					
2 0	↓	↓	↓	↓ 金子 一男	↓

通学区域審議会委員

(平成20年6月1日～平成22年5月31日)

氏名	備考	氏名	備考	氏名	備考
伊藤 義一	学校評議員	片野 信一	安食小学校長	佐久間 三智子	北辺田小学校長
岩井 清	酒直小学校長	大久保 雅従	栄中学校長	諸岡 浩良	北辺田小学校PTA会長
				奥野 陽一	栄中学校PTA会長

就学指導委員会委員

(平成18年11月1日～平成20年10月31日)

No.	氏名	勤務場所	備考
1	後藤 良顯	後藤医院	学校医(内科)
2	川邊 敏	エスポワール川辺医院	精神科医
3	鈴木 良雄	鈴木整形外科・内科医院	学校医(内科・整形外科)
4	藤野 修	日本医科大学千葉北総病院	小児科医
5	菊地 龍彦	印旛学舎	学識経験者
6	中野 千賀子	在宅	学識経験者
7	佐々木 恵子	野田看護専門学校	臨床心理士
8	青木 英二	千葉県立印旛特別支援学校	教頭
9	片野 信一	安食小学校	小学校長
10	田邊 みさを	安食台小学校	小学校長
11	大久保 雅従	栄中学校	中学校長

教育相談員

(平成20年4月1日～平成22年3月31日)

No	氏名	相談日	場所
1	柳沢 敬子	毎週 火・金	ふれあいプラザさかえ ゆうがく館

栄町学校医・学校薬剤師等分担名簿

(平成20年4月1日～平成22年3月31日)

	内科	歯科	眼科	耳鼻科	薬剤師
安食小学校	後藤 良顯	高見 洋一	保津 治道	木内 隆	鈴木 久夫
	小川 芳信	清河 建明			
北辺田小学校	桑原 久	八田 羽昭	保津 治道	木内 隆	薄田 信子
酒直小学校	中山 肇	八田 羽昭	土井 靖子	鳥居 雅江	麻生 潤子
布鎌小学校	後藤 良顯	齋藤 充郎	保津 治道	橘 昌孝	鈴木 久夫
安食台小学校	影山 孝正	清河 建明	土井 靖子	木内 隆	宮本 幸子
竜角寺台小学校	小川 芳信	岸 孝光	土井 靖子	鳥居 雅江	麻生 潤子
	鈴木 良雄	三本 雅樹			
栄中学校	桑原 久	福島 智	保津 治道	橘 昌孝	薄田 信子
	後藤 良顯	勝田 剛司			
栄東中学校	大坪 健二	岸 孝光	土井 靖子	鳥居 雅江	宮本 幸子
	鈴木 良雄	菊地 秀夫			

学校評議員

(平成20年5月1日～平成21年3月31日)

氏名	備考	氏名	備考
梶谷幸助	安食小学校	菅野義雄	安食台小学校
早川久美子	安食小学校	渡辺民子	安食台小学校
小川武彦	安食小学校	榎本恵美子	安食台小学校
藤崎忠	北辺田小学校	藤井清臣	竜角寺台小学校
杉田勉	北辺田小学校	佐藤清人	竜角寺台小学校
大野徹夫	北辺田小学校	藤本直子	竜角寺台小学校
伊藤義一	酒直小学校	岡田千代子	竜角寺台小学校
増田栄	酒直小学校	堀越恵美子	竜角寺台小学校
阿部恵美子	酒直小学校	篠田一典	栄中学校
伊藤有子	酒直小学校	芝野照敏	栄中学校
谷博	酒直小学校	石川純子	栄中学校
鈴木照夫	布鎌小学校	鈴木とき彥	栄中学校
長澤正男	布鎌小学校	原田佳典	栄東中学校
桑原栄子	布鎌小学校	秋山孝夫	栄東中学校
金子一男	布鎌小学校	中島宣行	栄東中学校
篠原正臣	布鎌小学校	藤田由	栄東中学校
帯金國男	安食台小学校	内田剛	栄東中学校

栄町学校給食センター運営協議会委員

(平成18年10月1日～平成20年9月30日)

氏名	備考	氏名	備考
齋藤充郎	学校歯科医	片野信一	安食小学校長
鈴木良雄	学校医	小林茂	栄東中学校長
宮本幸子	学校薬剤師	野口浩	安食小学校PTA会長
讃井ゆみ子	学識経験者(学校評議員)	奥野陽一	栄中学校PTA会長

社会教育委員

(平成20年8月1日～平成22年7月31日)

氏名	備考	氏名	備考
鈴木照夫	委員長	龍満ヨシエ	
谷博	副委員長	大竹たまい	
河合曹司		大久保雅従	栄中学校長
大三川裕貴		佐久間三智子	北辺田小学校長
阿部恵美子		野平尚	
後藤良一		堀越さち子	
伊藤幸雄			
寺西幹江			

体育指導委員協議会

(平成20年4月1日～平成22年3月31日)

氏名	備考	氏名	備考
中澤一夫	会長	佐々木裕央	
岩井富子	副会長	笹原美晴	
松田重雄	副会長	石村淳子	
芳澤征子		稲葉敏明	
菅野義雄			
八田羽絵里			

体育協会

(平成20年4月1日～平成22年3月31日)

氏名	備考	氏名	備考
大澤義和	顧問	大熊正美	理事(弓道)
藤村勉	会長	石塚裕昭	理事(柔道)
後藤良一	副会長	岡部千恵子	理事(バレーボール)
寺西幹江	副会長(テニス・理事兼務)	海老原登	理事(ゲートボール)
野平薫	監事(バドミントン・理事兼務)	丹澤和仁	理事(ゴルフ)
和田淑子	監事(バレーボール)	成瀬光昭	理事(ソフトボール)
長谷川勝秀	理事(陸上競技)	大野久男	理事(空手)
稲毛広和	理事(野球)	廣瀬宗英	理事(相撲)
篠田一典	理事(スポーツ少年団、剣道)	山田幸一	理事(サッカー)
猪瀬泰志	理事(ソフトテニス)	浅倉保三	理事(スキー)
浮嶋群浩	理事(バスケットボール)	山本重宏	理事(ユニカール)
三浦正明	理事(卓球)		

子ども会育成連絡協議会

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

氏名	備考	氏名	備考
藤崎健生	会長	横山茂子	監事
阿部恵美子	副会長	沖元まゆみ	
大橋千鶴子	副会長	井上聡子	
山村明世	副会長	山本美恵子	
赤地あけみ	会計	大野信治	
大村由美子	会計	篠崎美津男	

栄町PTA連絡協議会

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

氏名	住所	TEL	備考
奥村信好	龍角寺33(酒直小学校)	95-1759	会長
本橋勝	竜角寺台6-26-1(竜角寺台小学校)	5311	副会長
岩井清	龍角寺33(酒直小学校)	1759	副会長
諸岡浩良	北辺田212(北辺田小学校)	1758	幹事
大野功	龍角寺33(酒直小学校)	1759	幹事
関口亮	竜角寺台6-26-1(竜角寺台小学校)	5311	幹事
奥野陽一	安食55(栄中学校)	0011	会計監査
片野信一	安食305(安食小学校)	0017	会計監査

青少年相談員連絡協議会

(平成19年4月1日～平成22年3月31日)

地区名	氏名	備考	地区名	氏名	備考
安食	川嶋一成	地区会長	布鎌	小島和彦	地区会長
	八田羽博道	副会長		大塚正治	
	鈴木康夫			藤ヶ崎正美	副会長
	野村隆			長澤竜一	
	高見一照			平井英伸	
	倉本美和			石川綾子	
	薄田英紀			秋元秀昭	
北辺田	大野成俊		安食台	田沼輝和	
	石原昭一	会計		伊藤幸雄	会長
	富山一美	地区会長		橋本浩	
	麻生裕久	会計		鈴木寛人	地区会長
酒直	石原和典	地区会長	安食台	濱荻健司	
	河内幸彦			稲葉正和	
	林田伸二			山本重宏	副会長
	高木雄二		竜角寺台	塩山博文	地区会長
	沓掛和重			佐藤清人	
				石井康	

文化財審議会委員

(平成18年10月1日～平成20年9月30日)

氏名	備考	氏名	備考
後藤八郎	会長	山田富士雄	
海老原登	副会長	長澤正男	
塩田祐一		山田和夫	
生方徹夫		矢萩幸雄	

栄町史編さん委員会委員

(平成19年4月1日～平成21年3月31日)

氏名	備考	氏名	備考
高塚馨	会長	加藤惣平	
日暮和代	副会長	菅井稔	
阿由葉司		福島章吉	
塩田祐一		大友一雄	
山田俊彌			

町史編さん委員専門委員

(任期2年)

氏名	部会名	役職名	任期
鏑木行廣	近世	編集委員	H20.8.1~H22.7.31
高橋 覚	近世	編集委員	H20.8.1~H22.7.31
大友一雄	近世	編集委員	H20.8.1~H22.7.31
萩原敏彦	近世	調査研究員	H20.8.1~H22.7.31
渡辺善司	近世	調査研究員	H20.8.1~H22.7.31
清水邦俊	近世	調査研究員	H20.8.1~H22.7.31
小池康久	近世	調査研究員	H19.4.1~H21.3.31
飯島 章	近代	編集委員	H20.8.1~H22.7.31
矢嶋毅之	近代	調査研究員	H20.8.1~H22.7.31
中澤恵子	近代	調査研究員	H20.8.1~H22.7.31
丹治雄一	近代	調査研究員	H20.8.1~H22.7.31
山田富士雄	現代	編集委員	H20.8.1~H22.7.31
豊川公裕	現代	調査研究員	H20.8.1~H22.7.31
山田和夫	文化財社寺	編集委員	H20.8.1~H22.7.31
植野英夫	文化財社寺	調査研究員	H20.8.1~H22.7.31
小倉 博	民俗	編集委員	H20.8.1~H22.7.31
高塚 馨	民俗	編集委員	H20.8.1~H22.7.31
桜井健治	民俗	調査研究員	H20.8.1~H22.7.31
小林 稔	民俗	調査研究員	H20.8.1~H22.7.31
木原律子	民俗	調査研究員	H19.4.1~H21.3.31
小林裕美	民俗	調査研究員	H19.4.1~H21.3.31
能勢幸枝	民俗	調査研究員	H19.4.1~H21.3.31
福島章吉	自然環境	調査研究員	H20.8.1~H22.7.31

平成20年度 栄町教育要覧

発行日 平成20年9月

編集・発行 栄町教育委員会

印旛郡栄町安食台1-2

電話 0476(95)1111

<http://www.town.sakae.chiba.jp/kyouiku/>

E-Mail kyouiku@town.sakae.chiba.jp